

令和6年度 栃木県子どもモニター 第3回アンケート結果

調査実施の概要

1. 栃木県子どもモニターってなに

栃木県は、子どもに関する施策を考えて実現するため、子どもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県子どもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

2. 第3回アンケート期間

令和6年10月21日（月曜日）から11月18日（月曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答URLを送付、WEBサイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

1,000名

5. 第3回アンケート回答者数

817名

6. 第3回アンケート回答率

81.7%

7. 作成日

2024年11月20日

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。

※ 「その他」を選択した場合の自由記述欄は、基本的には原文のまま掲載しています。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。

※ 高校生～22才の区分については、テキスト表記の関係上、「高校若者」「高校・若者」で表記しています。

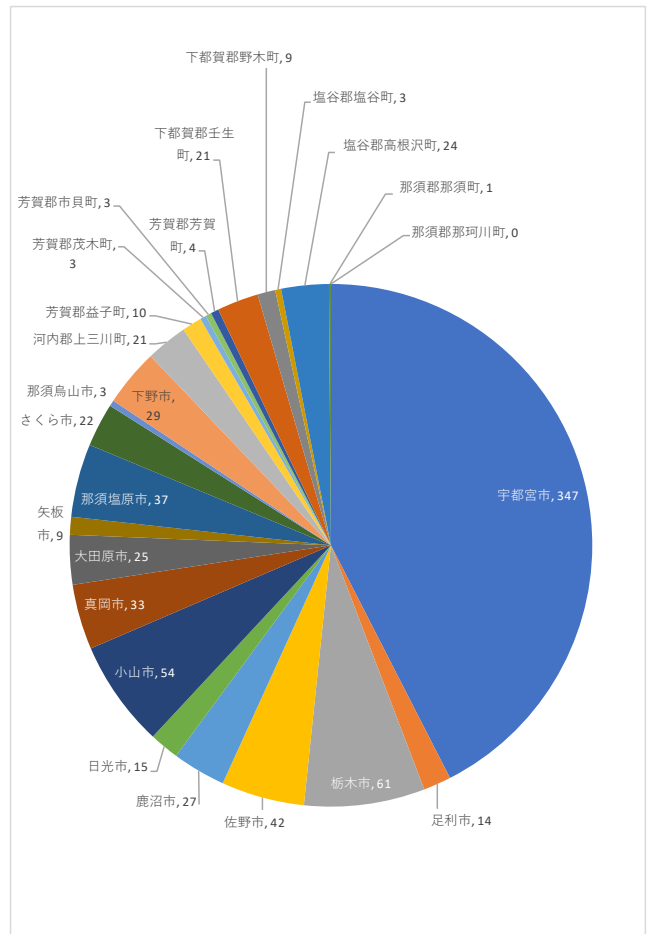
【モニター対象者に対する回答率（性別・学年、年齢別）】

		モニター対象人数	回答			
			人数	割合	率	
性別	男性（男の子）	334	276	33.8%	82.6%	
	女性（女の子）	661	538	65.9%	81.4%	
	答えたくない	5	3	0.4%	60.0%	
学年・年齢別	小学生	小学1年生	65	55	16.3%	84.6%
		小学2年生	73	61	18.0%	83.6%
		小学3年生	67	55	16.3%	82.1%
		小学4年生	75	68	20.1%	90.7%
		小学5年生	67	56	16.6%	83.6%
		小学6年生	48	43	12.7%	89.6%
		合計	395	338	-	85.6%
	中学生	中学1年生	69	60	44.8%	87.0%
		中学2年生	59	49	36.6%	83.1%
		中学3年生	35	25	18.7%	71.4%
		合計	163	134	-	82.2%
	高校生・若者	高校1年生	27	22	20.6%	81.5%
		高校2年生	94	39	36.4%	41.5%
		高校3年生	12	10	9.3%	83.3%
		16才	2	0	0.0%	0.0%
		17才	2	0	0.0%	0.0%
		18才	5	2	1.9%	40.0%
		19才	11	10	9.3%	90.9%
		20才	17	12	11.2%	70.6%
		21才	13	10	9.3%	76.9%
		22才	2	2	1.9%	100.0%
合計	185	107	-	57.8%		
保護者	10代	0	0	0.0%	0.0%	
	20代	15	12	5.0%	80.0%	
	30代	111	101	42.4%	91.0%	
	40代	97	92	38.7%	94.8%	
	50代	34	33	13.9%	97.1%	
	60代	0	0	0.0%	0.0%	
	70代以上	0	0	0.0%	0.0%	
合計	257	238	-	92.6%		
全区分合計		1000	817	100.0%	81.7%	

【居住地域別回答数】

上段：回答数、下段：構成比

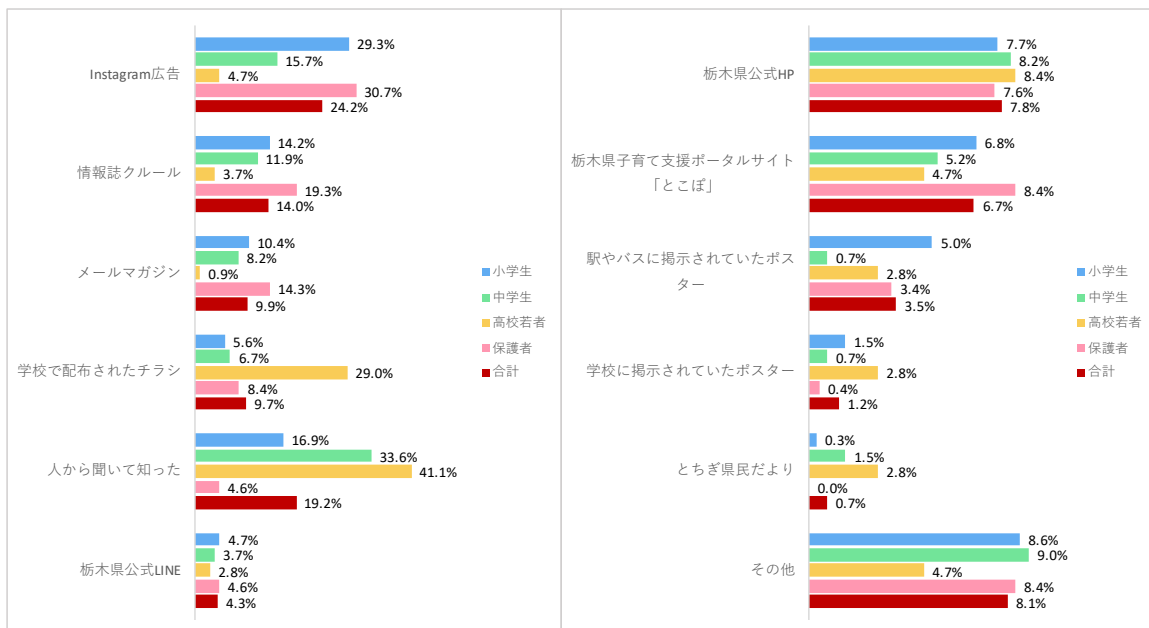
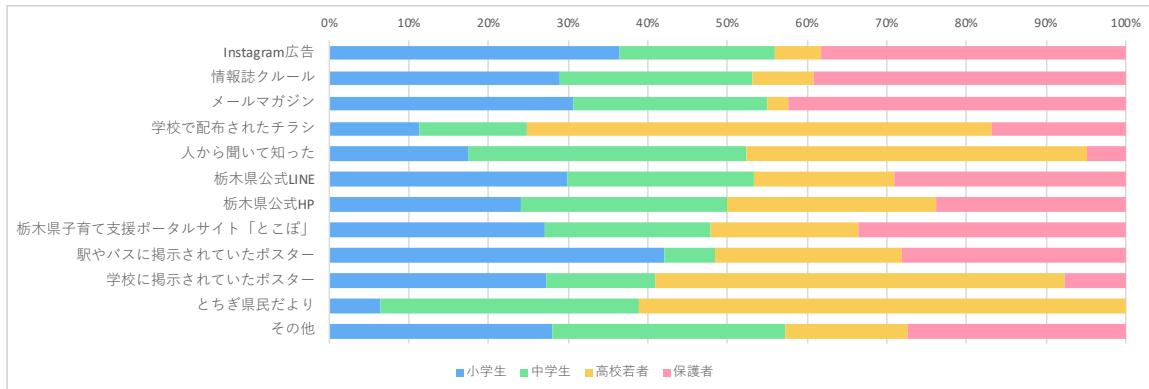
市町	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
宇都宮市	141 41.7%	58 43.3%	45 42.1%	103 43.3%	347 42.5%
足利市	6 1.8%	3 2.2%	2 1.9%	3 1.3%	14 1.7%
栃木市	19 5.6%	9 6.7%	13 12.1%	20 8.4%	61 7.5%
佐野市	22 6.5%	5 3.7%	3 2.8%	12 5.0%	42 5.1%
鹿沼市	12 3.6%	5 3.7%	7 6.5%	3 1.3%	27 3.3%
日光市	6 1.8%	4 3.0%	0 0.0%	5 2.1%	15 1.8%
小山市	24 7.1%	9 6.7%	12 11.2%	9 3.8%	54 6.6%
真岡市	16 4.7%	6 4.5%	1 0.9%	10 4.2%	33 4.0%
大田原市	11 3.3%	3 2.2%	3 2.8%	8 3.4%	25 3.1%
矢板市	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 2.9%	9 1.1%
那須塩原市	13 3.8%	7 5.2%	5 4.7%	12 5.0%	37 4.5%
さくら市	11 3.3%	3 2.2%	0 0.0%	8 3.4%	22 2.7%
那須烏山市	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	3 0.4%
下野市	14 4.1%	5 3.7%	2 1.9%	8 3.4%	29 3.5%
河内郡上三川町	7 2.1%	3 2.2%	5 4.7%	6 2.5%	21 2.6%
芳賀郡益子町	4 1.2%	3 2.2%	1 0.9%	2 0.8%	10 1.2%
芳賀郡茂木町	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	3 0.4%
芳賀郡市貝町	1 0.3%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.4%	3 0.4%
芳賀郡芳賀町	1 0.3%	1 0.7%	2 1.9%	0 0.0%	4 0.5%
下都賀郡壬生町	10 3.0%	3 2.2%	1 0.9%	7 2.9%	21 2.6%
下都賀郡野木町	4 1.2%	2 1.5%	0 0.0%	3 1.3%	9 1.1%
塩谷郡塩谷町	2 0.6%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	3 0.4%
塩谷郡高根沢町	10 3.0%	4 3.0%	3 2.8%	7 2.9%	24 2.9%
那須郡那須町	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
那須郡那珂川町	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
n：回答者数	338	134	107	238	817



【ツール別回答数】設問/「栃木県子どもモニター」をどこで知りましたか？

上段：回答数、下段：構成比

ツール	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
Instagram広告	99 29.3%	21 15.7%	5 4.7%	73 30.7%	198 24.2%
情報誌クルール	48 14.2%	16 11.9%	4 3.7%	46 19.3%	114 14.0%
メールマガジン	35 10.4%	11 8.2%	1 0.9%	34 14.3%	81 9.9%
学校で配布されたチラシ	19 5.6%	9 6.7%	31 29.0%	20 8.4%	79 9.7%
人から聞いて知った	57 16.9%	45 33.6%	44 41.1%	11 4.6%	157 19.2%
栃木県公式LINE	16 4.7%	5 3.7%	3 2.8%	11 4.6%	35 4.3%
栃木県公式HP	26 7.7%	11 8.2%	9 8.4%	18 7.6%	64 7.8%
栃木県子育て支援ポータルサイト「とこぼ」	23 6.8%	7 5.2%	5 4.7%	20 8.4%	55 6.7%
駅やバスに掲示されていたポスター	17 5.0%	1 0.7%	3 2.8%	8 3.4%	29 3.5%
学校に掲示されていたポスター	5 1.5%	1 0.7%	3 2.8%	1 0.4%	10 1.2%
とちぎ県民だより	1 0.3%	2 1.5%	3 2.8%	0 0.0%	6 0.7%
その他	29 8.6%	12 9.0%	5 4.7%	20 8.4%	66 8.1%
n：回答者数	338	134	107	238	817

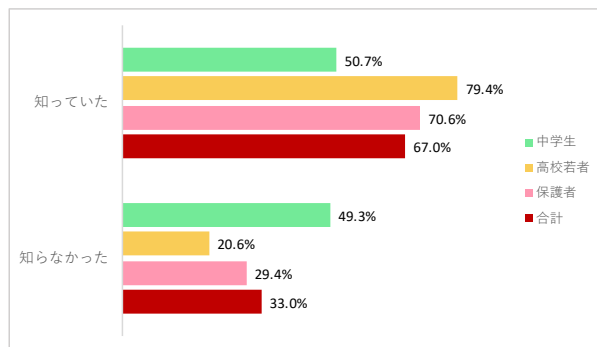
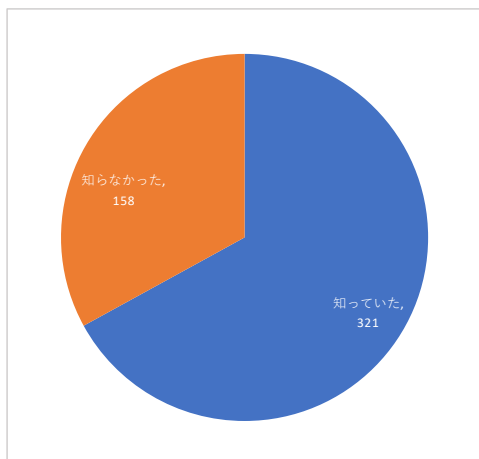


Q1. (中学校・高校若者・保護者) 栃木県の条例の規定により、自転車を利用する人は、自転車損害賠償責任保険等への加入義務があることを知っていますか。

※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車の事故で相手にケガなどをさせてしまった場合の補償に関する保険や共済などです。

上段：回答数、下段：構成比

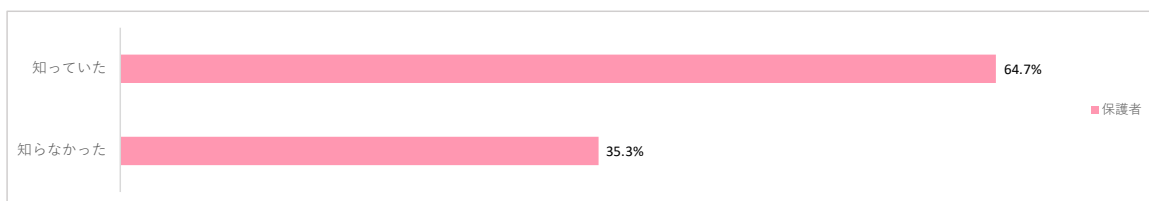
中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
知っていた	-	68 50.7%	85 79.4%	168 70.6%	321 67.0%
知らなかった	-	66 49.3%	22 20.6%	70 29.4%	158 33.0%
n：回答者数	-	134	107	238	479



Q2. (保護者) 栃木県の条例の規定により、保護者は、その監護する未成年者が自転車を利用するときは、自転車損害賠償責任保険等に加入しなければならないことを知っていますか。

上段：回答数、下段：構成比

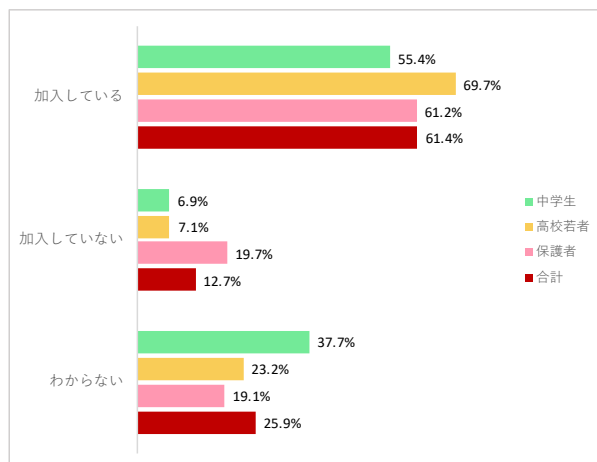
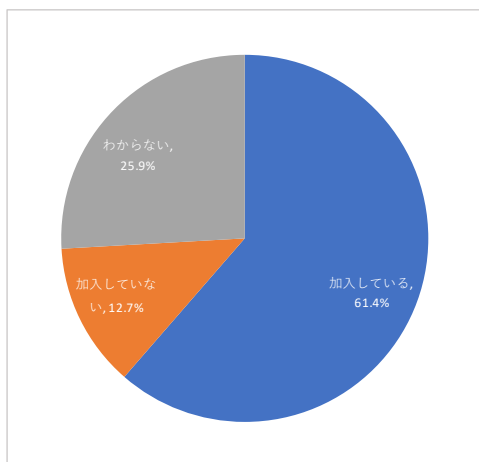
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
知っていた	-	-	-	154 64.7%	154 64.7%
知らなかった	-	-	-	84 35.3%	84 35.3%
n：回答者数	-	-	-	238	238



Q2.（中学生・高校若者）、Q3.（保護者）自転車を利用する人に質問です。あなたは、自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
加入している	-	72 55.4%	69 69.7%	115 61.2%	256 61.4%
加入していない	-	9 6.9%	7 7.1%	37 19.7%	53 12.7%
わからない	-	49 37.7%	23 23.2%	36 19.1%	108 25.9%
n：回答者数	-	130	99	188	417

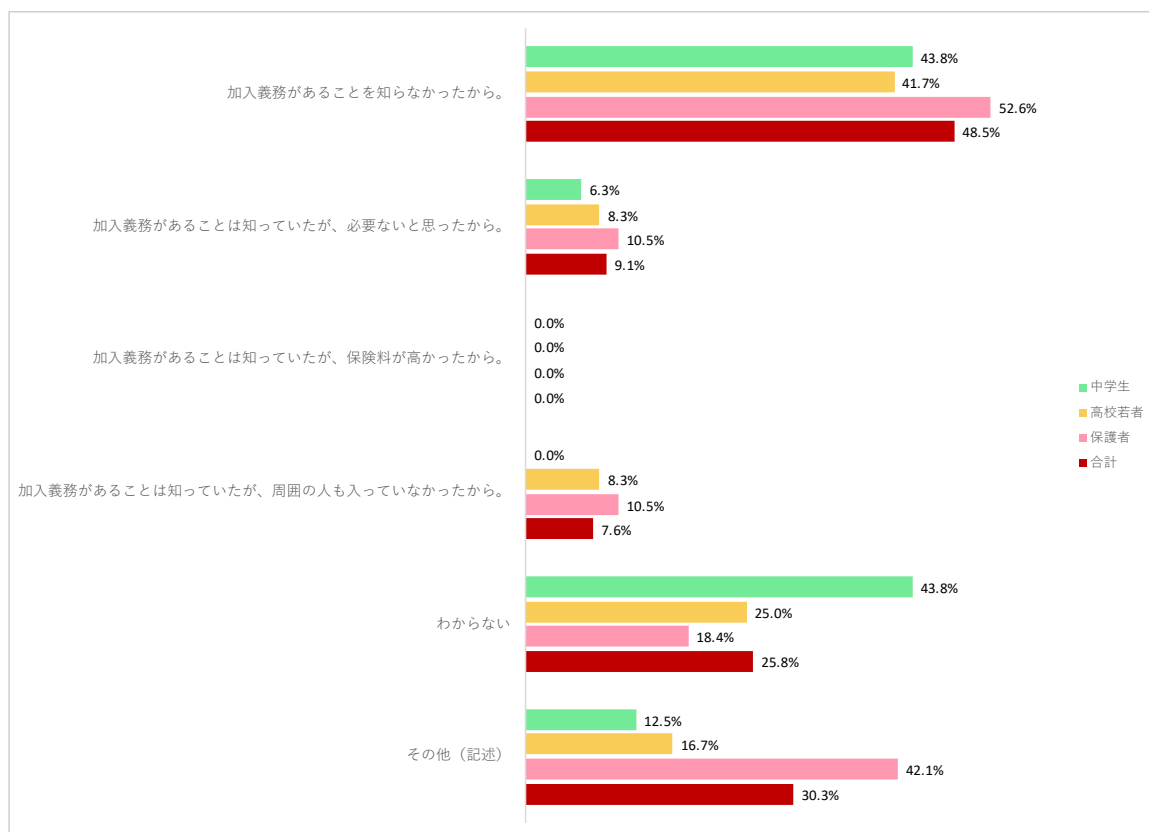


Q3. (中学生・高校若者) 「Q2」で「加入していない」と回答した人に質問です。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【2つまで選んでください】

Q4. (保護者) 「Q3」で「加入していない」と回答した人に質問です。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【2つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
加入義務があることを知らなかったから。	-	7	5	20	32
	-	43.8%	41.7%	52.6%	48.5%
加入義務があることは知っていたが、必要ないと思ったから。	-	1	1	4	6
	-	6.3%	8.3%	10.5%	9.1%
加入義務があることは知っていたが、保険料が高かったから。	-	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
加入義務があることは知っていたが、周囲の人も入っていなかったから。	-	0	1	4	5
	-	0.0%	8.3%	10.5%	7.6%
わからない	-	7	3	7	17
	-	43.8%	25.0%	18.4%	25.8%
その他（記述）	-	2	2	16	20
	-	12.5%	16.7%	42.1%	30.3%
n：回答者数	-	16	12	38	66



その他（記述）

【中学生】

- ・親に任せている
- ・自転車に乗らない 2件

【高校若者】

- ・普段自転車にならないから
- ・個人賠償責任保険に加入しているから

【保護者】

- ・自転車を自分が乗って居た時は保険ではなく、現在でも保険は任意だと思っていた。
- ・自転車損害賠償と個人賠償？が一緒か分からないが、個人賠償？は入っている。
- ・自転車に乗らない、あまり乗らない、持っていないなど 16件

Q5. (保護者) お子さんが自転車を利用する人に質問です。お子さんを自転車損害賠償責任保険等に加入させていますか。

上段：回答数、下段：構成比

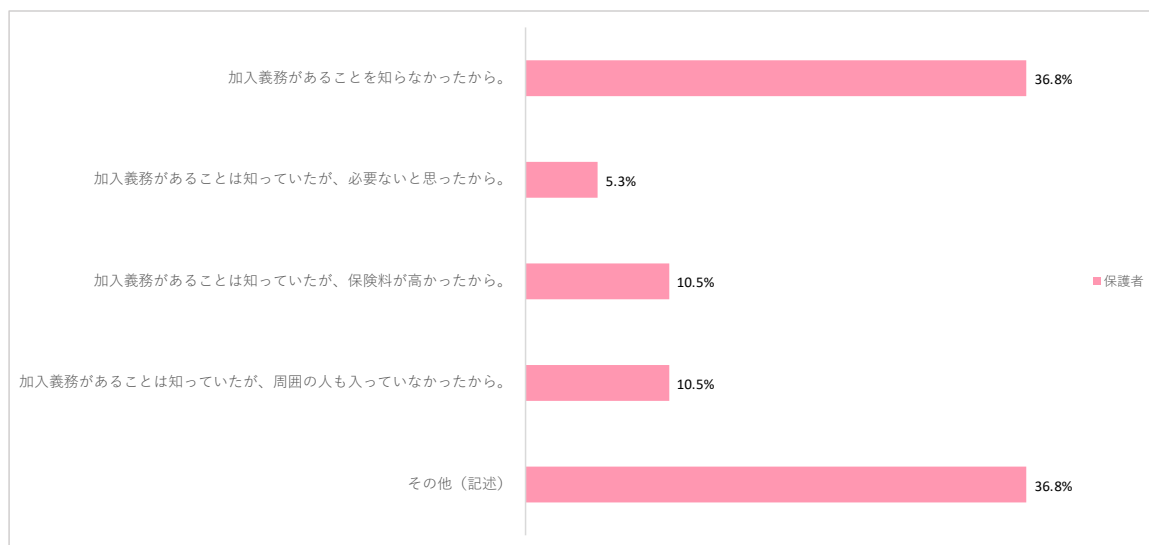
保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
加入している	-	-	-	124	124
	-	-	-	69.3%	69.3%
加入していない	-	-	-	34	34
	-	-	-	19.0%	19.0%
わからない	-	-	-	21	21
	-	-	-	11.7%	11.7%
n：回答者数	-	-	-	179	179



Q6. (保護者) 「Q5」で「加入させていない」と回答した人に質問です。自転車損害賠償責任保険等に加入させていない理由は何ですか。

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
加入義務があることを知らなかったから。	-	-	-	14	14
	-	-	-	36.8%	36.8%
加入義務があることは知っていたが、必要ないと思ったから。	-	-	-	2	2
	-	-	-	5.3%	5.3%
加入義務があることは知っていたが、保険料が高かったから。	-	-	-	4	4
	-	-	-	10.5%	10.5%
加入義務があることは知っていたが、周囲の人も入っていなかったから。	-	-	-	4	4
	-	-	-	10.5%	10.5%
その他（記述）	-	-	-	14	14
	-	-	-	36.8%	36.8%
n：回答者数	-	-	-	38	38



その他（記述）

【保護者】

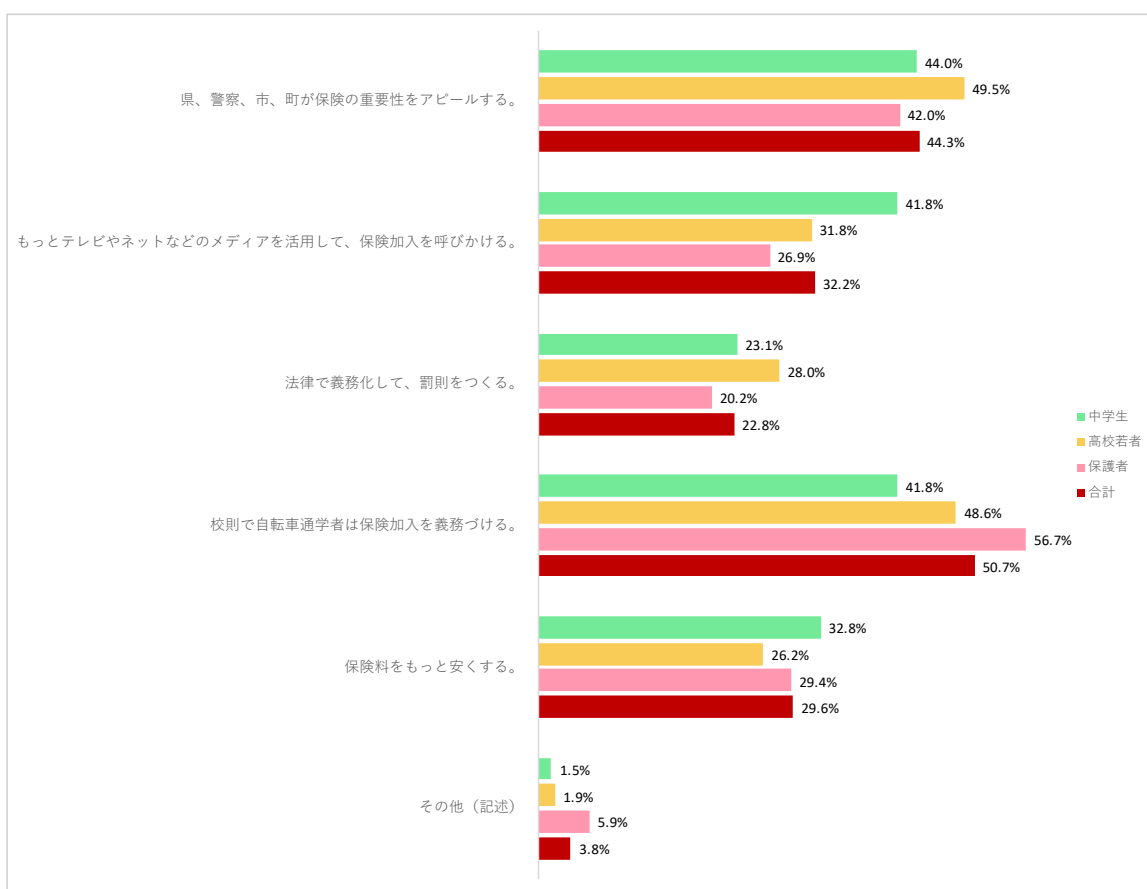
- ・親の加入している保険で対応できるから。

- ・加入させるつもりです
- ・加入しなければならないことは理解しているが、どこで入ればいいのか検討段階のため。
- ・まだ子供が自転車に乗って公道を走る事がない。
- ・自転車を持ってはいるが、移動としてはほとんど使わず、公園の中で走るだけの為
- ・個人賠償？は入れている。
- ・自転車に乗らない、まだ乗れないなど 8件

Q4.（中学生・高校若者）、Q7.（保護者）現在、栃木県の自転車損害賠償責任保険の加入率は、他県に比べ低い状態です。そこで、どうすれば保険の加入率が上がると思いますか。【2つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
県、警察、市、町が保険の重要性をアピールする。	-	59	53	100	212
	-	44.0%	49.5%	42.0%	44.3%
もっとテレビやネットなどのメディアを活用して、保険加入を呼びかける。	-	56	34	64	154
	-	41.8%	31.8%	26.9%	32.2%
法律で義務化して、罰則をつくる。	-	31	30	48	109
	-	23.1%	28.0%	20.2%	22.8%
校則で自転車通学者は保険加入を義務づける。	-	56	52	135	243
	-	41.8%	48.6%	56.7%	50.7%
保険料をもっと安くする。	-	44	28	70	142
	-	32.8%	26.2%	29.4%	29.6%
その他（記述）	-	2	2	14	18
	-	1.5%	1.9%	5.9%	3.8%
n：回答者数	-	134	107	238	479



その他（記述）

【中学生】

- ・自転車に乗る人を増やす
- ・実際に体験する

【高校若者】

- ・個人の責任
- ・自動車保険にオプションで付けられることをPRしたらよいと思う。
わざわざ新規加入するのは面倒だけど、オプション追加なら気軽に安くできるから。

【保護者】

- ・保険料を無料にし（助成を出し）、加入を義務づける。
- ・学校で自転車の講習会などあるので、その際に保護者向けに手紙などで知らせると周知が広がるかなと思います
- ・メリット、デメリットについて、学校や販売店などで説明および加入書を提示して購入できるようにする。

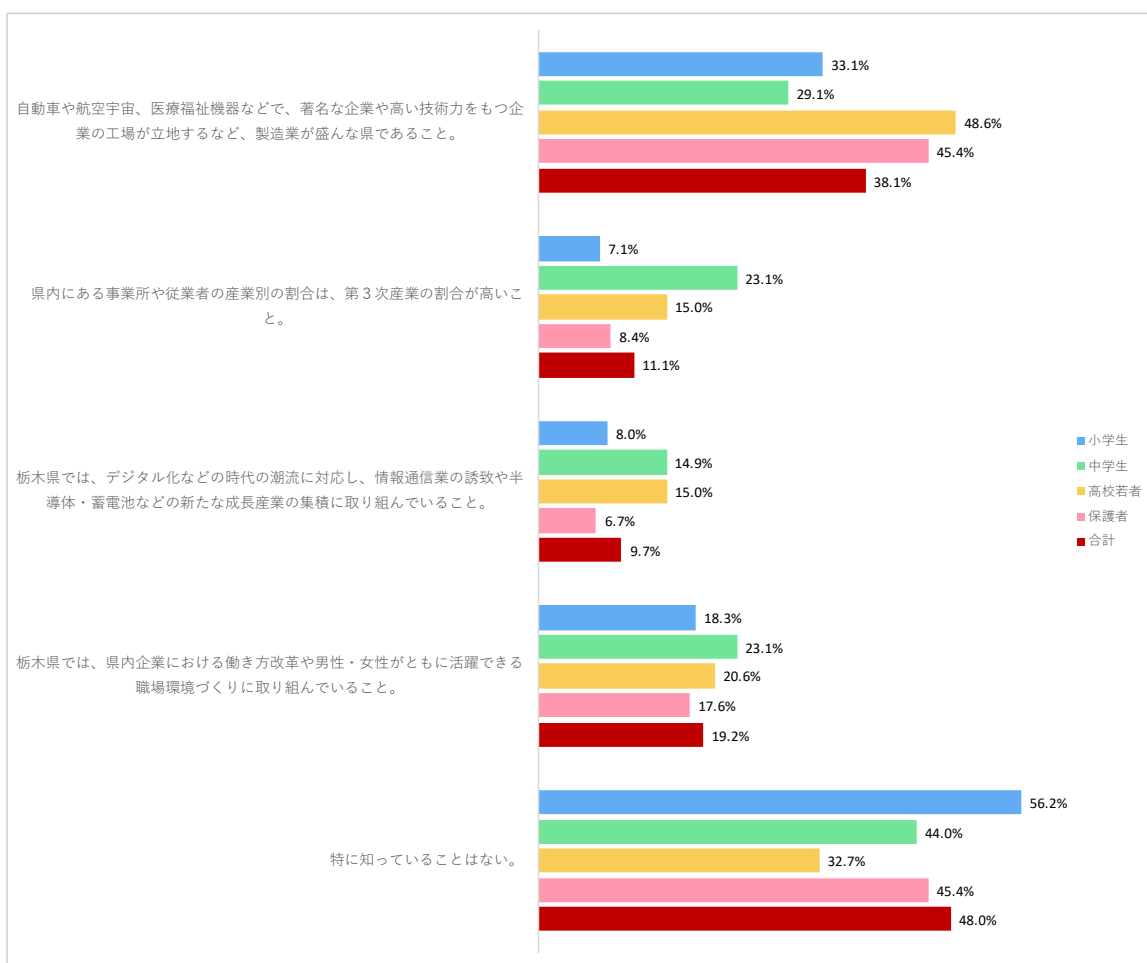
- ・購入の時に自動的に入る仕組み。防犯登録と同じようにする。
- ・自転車購入時に加入する仕組みを作る。
- ・購入時に加入させる。（防犯登録は500円を支払ってその場で防犯登録シールが貼られる記憶があります。）
- ・同じ日本で他県と比べる必要がない。他県と差があると戦争でもするわけでもない。
加入は乗る人、保護者の責任であり、義務化の意味が理解できない
- ・学校、保育園、幼稚園経由で、加入義務のお知らせを配布する
- ・自転車購入時に保険加入の案内等を購入店舗で呼びかけてもらう。学生以外の方にも広く知ってもらえらると思う。
- ・自転車購入や修理の際に加入を義務付ける
- ・学校で交通安全教室等を実施する
- ・学校の交通安全指導で子どもと親へ教える
- ・加入した時のメリット、しなかった時のデメリットをわかりやすく周知する
- ・自転車購入時に手続きするようにする
- ・未成年には県が保険料を負担する
- ・対象者が学生ならば、加入証明書の提出義務とし、提出したものに駐輪許可証等を発行して管理する
- ・自転車販売の時は薦めてるのかな？
- ・共済の器物破損の保険で自転車事故もカバーしているから、
そう言った項目まで書けばなんらかの形では保険に入っている人が増えると思う。

Q1.（小学生）、Q5.（中学生・高校若者）、Q8.（保護者）栃木県の第2次産業（例：製造業、建設業など）、第3次産業（例：卸売・小売業、情報通信業など）の特徴等について、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
自動車や航空宇宙、医療福祉機器などで、著名な企業や高い技術力をもつ企業の工場が立地するなど、製造業が盛んな県であること。	112 33.1%	39 29.1%	52 48.6%	108 45.4%	311 38.1%
県内にある事業所や従業者の産業別の割合は、第3次産業の割合が高いこと。	24 7.1%	31 23.1%	16 15.0%	20 8.4%	91 11.1%
栃木県では、デジタル化などの時代の潮流に対応し、情報通信業の誘致や半導体・蓄電池などの新たな成長産業の集積に取り組んでいること。	27 8.0%	20 14.9%	16 15.0%	16 6.7%	79 9.7%
栃木県では、県内企業における働き方改革や男性・女性がともに活躍できる職場環境づくりに取り組んでいること。	62 18.3%	31 23.1%	22 20.6%	42 17.6%	157 19.2%
特に知っていることはない。	190 56.2%	59 44.0%	35 32.7%	108 45.4%	392 48.0%
n：回答者数	338	134	107	238	817

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。

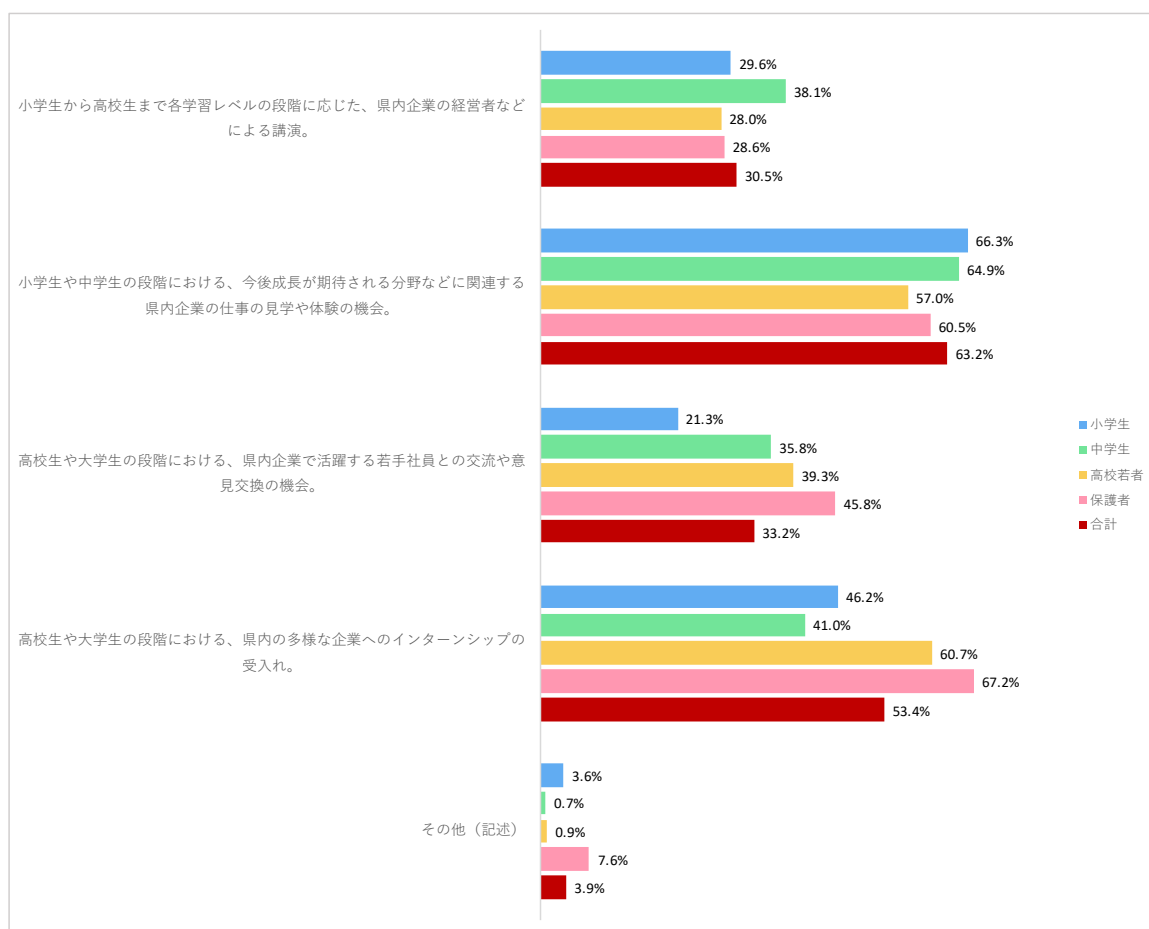


Q2. (小学生)、Q6. (中学生・高校若者)、Q9. (保護者) 進学で東京や他県にいる人達に対して、栃木県にも魅力的な仕事があることを知ってもらうためには、どのようなことが大切だと思いますか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
小学生から高校生まで各学習レベルの段階に応じた、県内企業の経営者などによる講演。	100 29.6%	51 38.1%	30 28.0%	68 28.6%	249 30.5%
小学生や中学生の段階における、今後成長が期待される分野などに関連する県内企業の仕事の見学や体験の機会。	224 66.3%	87 64.9%	61 57.0%	144 60.5%	516 63.2%
高校生や大学生に向けた、県内の会社で活躍する若手社員との交流や意見交換。	72 21.3%	48 35.8%	42 39.3%	109 45.8%	271 33.2%
高校生や大学生の段階における、県内の多様な企業へのインターンシップの受入れ。	156 46.2%	55 41.0%	65 60.7%	160 67.2%	436 53.4%
その他（記述）	12 3.6%	1 0.7%	1 0.9%	18 7.6%	32 3.9%
n：回答者数	338	134	107	238	817

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



その他（記述）

【小学生】

- ・キッズニアのような職業体験
- ・栃木県しょくぎょうブック
- ・小学生や中学生に向けた職業体験。
- ・自分からふるさどに戻りたいと思うような楽しい職業体験ができたら栃木県に戻りたい時思えると思う。
- ・勉強
- ・ネットで通じ、表す項目。
- ・実際に体験できて働いている人の思いや誇りが感じられる想いの共有が、あれば憧れになり得ると思う。
- ・お金がいっぱいもらえる会社であることを教えて欲しいやさしく、働きやすい会社があることを知りたい
- ・テレビでしようかいする
- ・学校でも専門的な教育をする
- ・質問が難しいなど 3件

【中学生】

- ・テレビなどでどのような魅力があるか伝える
- ・質問欄を通ずる

【高校若者】

- ・まずは、栃木県で生活することの魅力を知ってもらわないと、いい仕事があっても栃木県に定住しないと思う。だから、住み良さや東京に近いことなど、栃木の魅力をアピールするべきと考える。

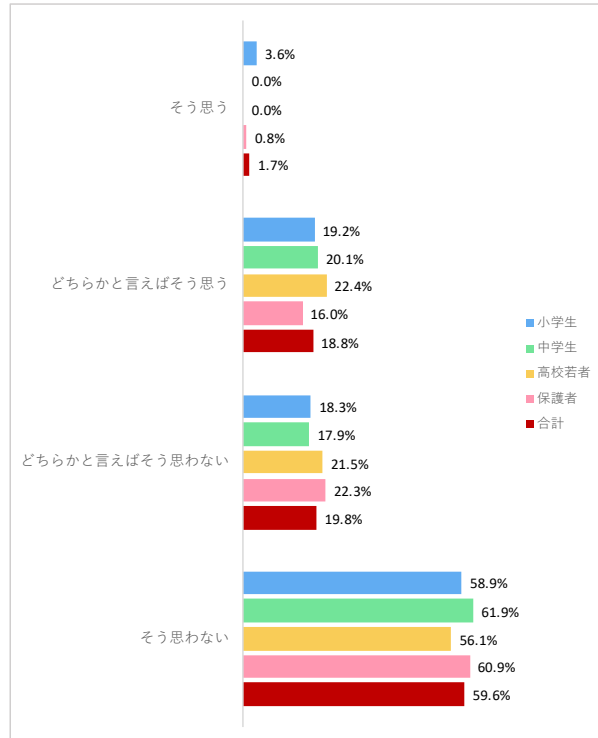
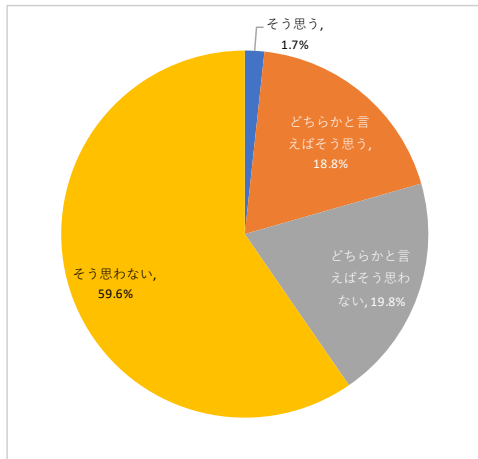
【保護者】

- ・企業に県内出身者向けの入社枠を設ける。
- ・地元優先枠の拡大
- ・仕事を選ぶのは場所よりも内容だと思うので、特に子どもたちにPRする必要はないと思う。県外で仕事をする経験はあった方が良いと思う。
- ・働き口があるが土地は安く住みやすい、場合によっては都心への通勤も可能な点を伝える
- ・県内就職で奨学金の返還なしにするなど
- ・大人が自分の仕事に誇りをもって楽しく仕事をする。楽しさを伝える。
- ・社会科見学
- ・学生だけでなく今現在働く大人や企業に対してもアピールしていくことが大切だと思う。
- ・福利厚生をよくする給料が高くて、休みを多くする
- ・賃金向上。
- ・県や市が、企業と協力して県内企業がPRやワークショップなどができる企画を増やす。
- ・まず住んで働きたいと思えるような街にするべき。．．．利便性テレビやネット、SNSでPR
- ・中学生に、会社見学や、工場見学を沢山させて欲しい
- ・親の職場に子供がもっと気軽に来て見学出来るようにする。働くことの大変さ、親のありがたみもわかると思う
- ・キャリア教育の観点で、小学校時代からの将来の夢と関連した職業調べから発展した、県内の職場や職業調べ。
- ・魅力的な仕事とはどういうことかわかりづらい。宇都宮駅周辺が都会的な雰囲気であることが必要だと思う。
- ・仕事以外の福利厚生や、観光、子育てなど私生活が充実できる環境が整っているかどうか重要だと思います。
- ・企業が小学生くらいからを対象とした職業体験とその企業の特徴をわかりやすく説明する場があるといい
- ・実際に栃木未来体験？！で日産のイベントに参加したが、子どもが益々車への興味が深まった
- ・インターの小学校や中学校を増やしたり、小学校からの学習能力の底上げをしてほしい

Q3. (小学生)、Q7. (中学生・高校若者)、Q10. (保護者) 家事・育児は女性がするべきだと思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

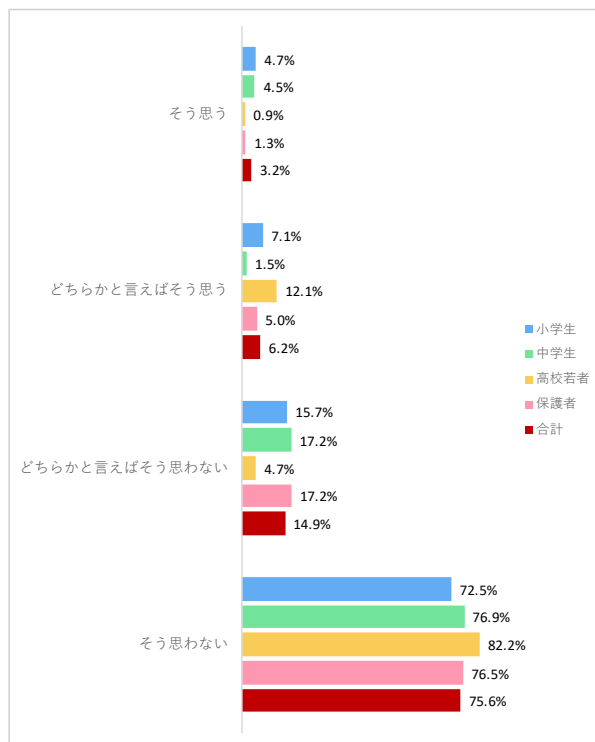
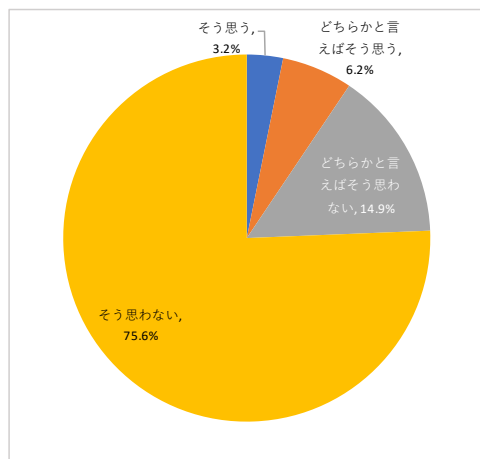
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	12 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	14 1.7%
どちらかと言えばそう思う	65 19.2%	27 20.1%	24 22.4%	38 16.0%	154 18.8%
どちらかと言えばそう思わない	62 18.3%	24 17.9%	23 21.5%	53 22.3%	162 19.8%
そう思わない	199 58.9%	83 61.9%	60 56.1%	145 60.9%	487 59.6%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q4. (小学生)、Q8. (中学生・高校若者)、Q11. (保護者) 女性に理系 (数学や理科、技術など) の学校や職業は向いていないと思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

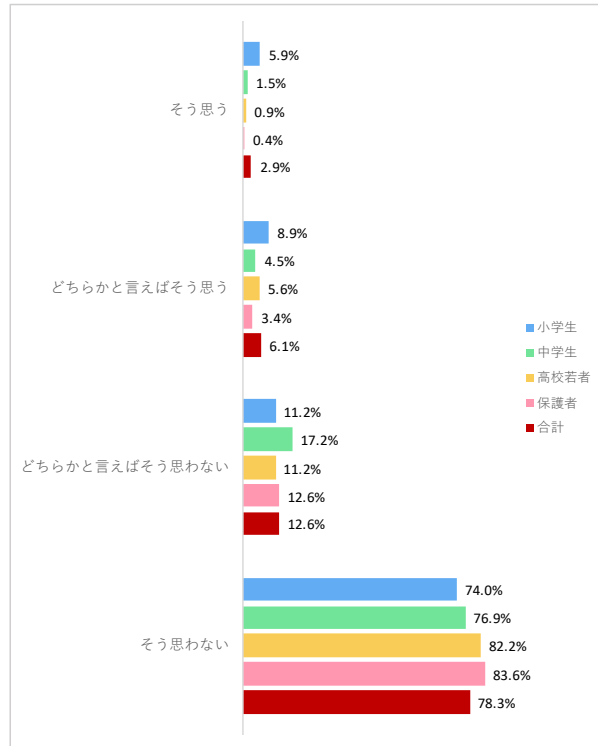
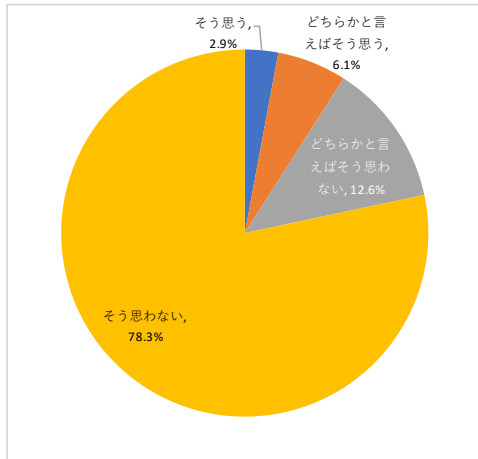
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	16 4.7%	6 4.5%	1 0.9%	3 1.3%	26 3.2%
どちらかと言えばそう思う	24 7.1%	2 1.5%	13 12.1%	12 5.0%	51 6.2%
どちらかと言えばそう思わない	53 15.7%	23 17.2%	5 4.7%	41 17.2%	122 14.9%
そう思わない	245 72.5%	103 76.9%	88 82.2%	182 76.5%	618 75.6%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q5. (小学生)、Q9. (中学生・高校若者)、Q12. (保護者) 学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

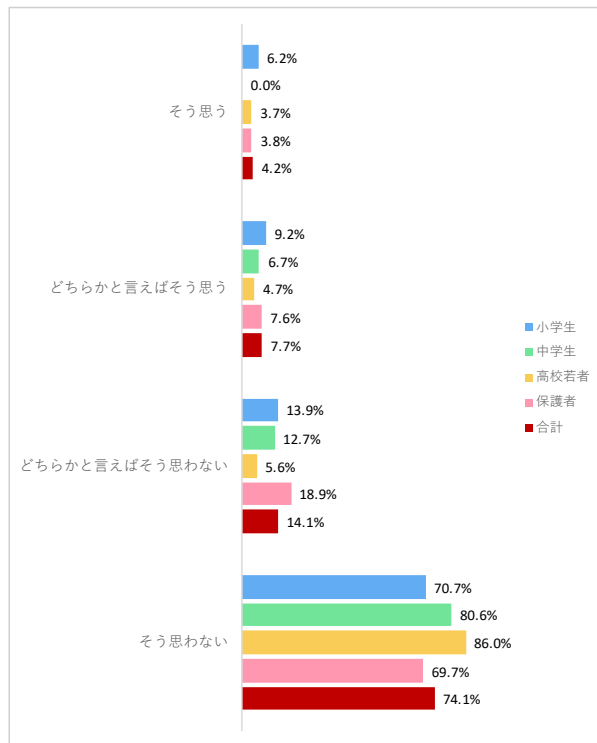
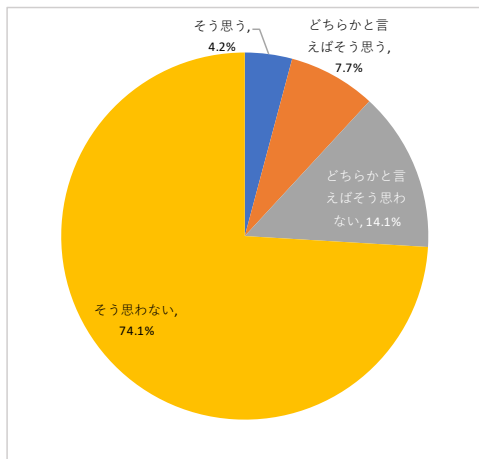
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	20 5.9%	2 1.5%	1 0.9%	1 0.4%	24 2.9%
どちらかと言えばそう思う	30 8.9%	6 4.5%	6 5.6%	8 3.4%	50 6.1%
どちらかと言えばそう思わない	38 11.2%	23 17.2%	12 11.2%	30 12.6%	103 12.6%
そう思わない	250 74.0%	103 76.9%	88 82.2%	199 83.6%	640 78.3%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q6. (小学生)、Q10. (中学生・高校若者)、Q13. (保護者) 男性は出産休暇／育児休業を取るべきではないと思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

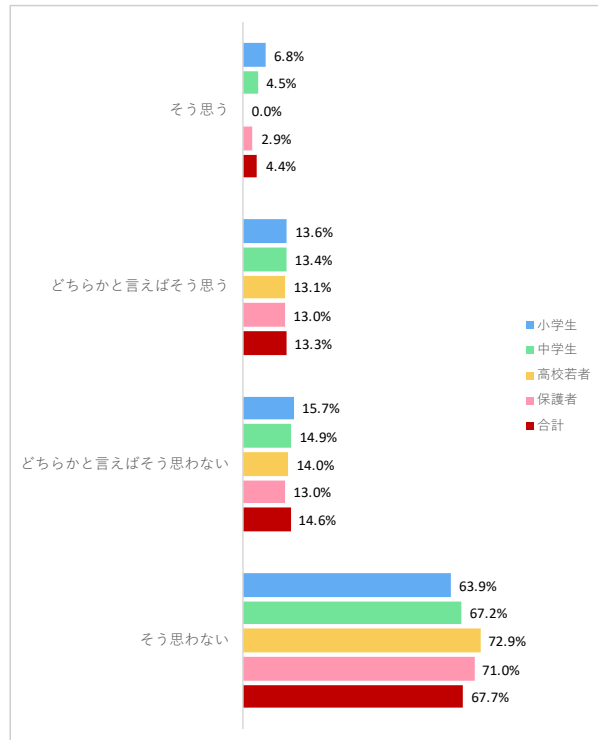
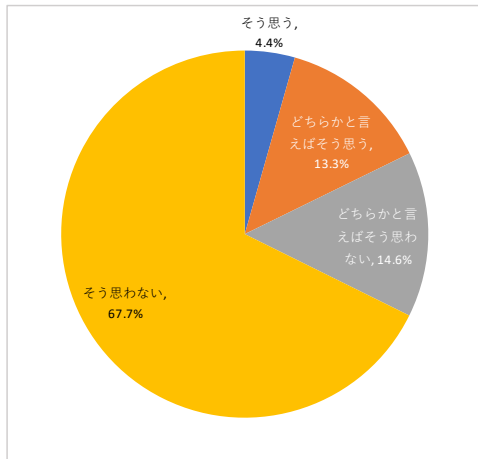
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	21 6.2%	0 0.0%	4 3.7%	9 3.8%	34 4.2%
どちらかと言えばそう思う	31 9.2%	9 6.7%	5 4.7%	18 7.6%	63 7.7%
どちらかと言えばそう思わない	47 13.9%	17 12.7%	6 5.6%	45 18.9%	115 14.1%
そう思わない	239 70.7%	108 80.6%	92 86.0%	166 69.7%	605 74.1%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q7. (小学生)、Q11. (中学生・高校若者)、Q14. (保護者) 職場のリーダーは男性が向いていると思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

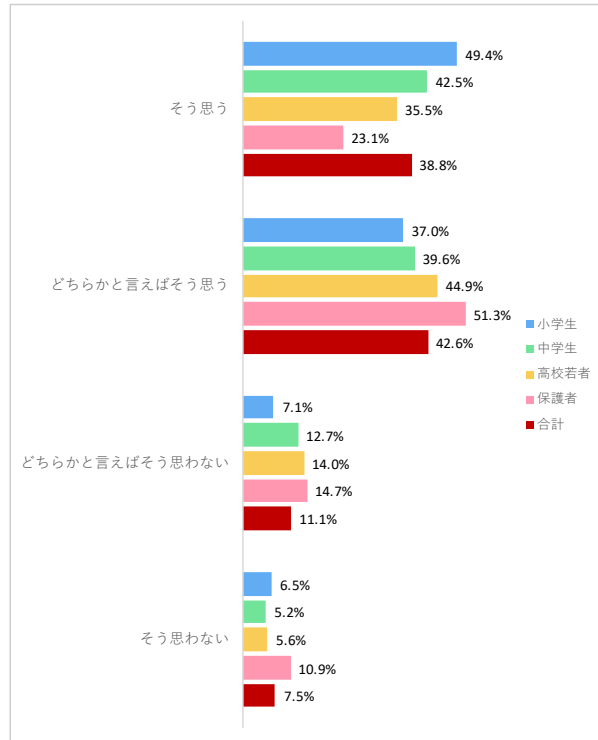
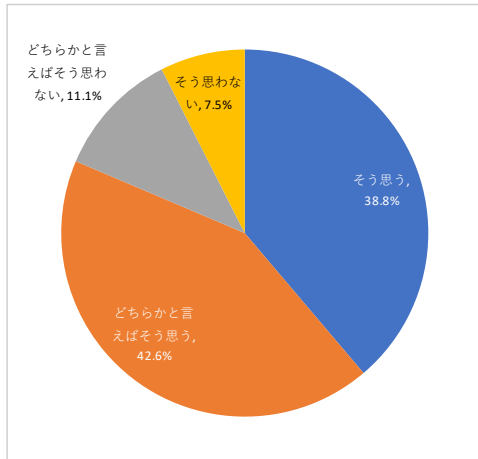
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	23 6.8%	6 4.5%	0 0.0%	7 2.9%	36 4.4%
どちらかと言えばそう思う	46 13.6%	18 13.4%	14 13.1%	31 13.0%	109 13.3%
どちらかと言えばそう思わない	53 15.7%	20 14.9%	15 14.0%	31 13.0%	119 14.6%
そう思わない	216 63.9%	90 67.2%	78 72.9%	169 71.0%	553 67.7%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q8. (小学生)、Q12. (中学生・高校若者)、Q15. (保護者) 今の生活が充実していると思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

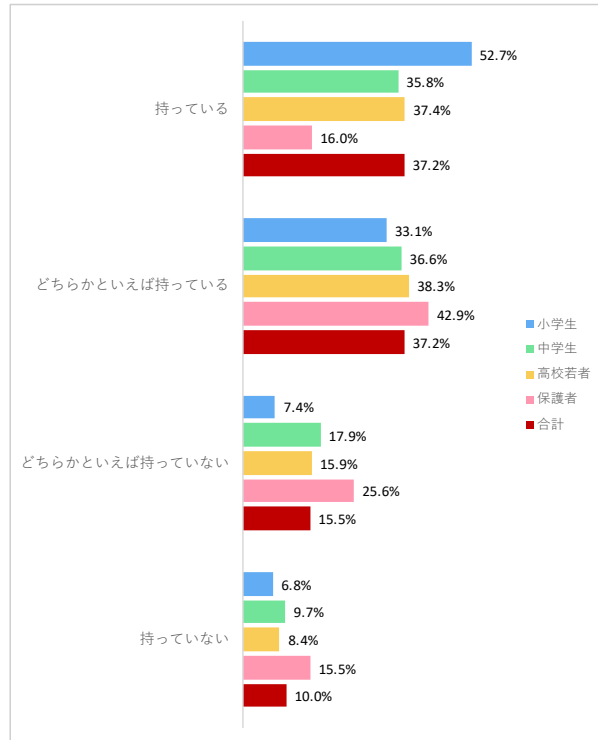
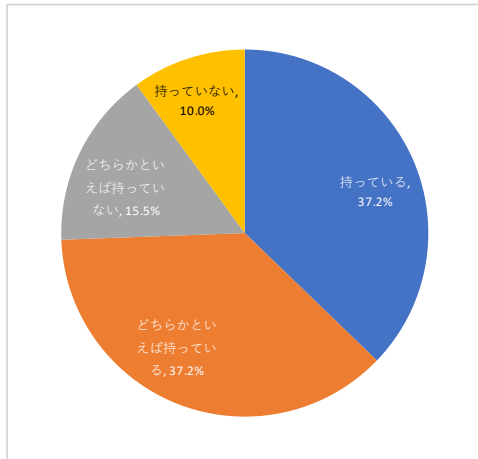
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
そう思う	167 49.4%	57 42.5%	38 35.5%	55 23.1%	317 38.8%
どちらかと言えばそう思う	125 37.0%	53 39.6%	48 44.9%	122 51.3%	348 42.6%
どちらかと言えばそう思わない	24 7.1%	17 12.7%	15 14.0%	35 14.7%	91 11.1%
そう思わない	22 6.5%	7 5.2%	6 5.6%	26 10.9%	61 7.5%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q9. (小学生)、Q13. (中学生・高校若者)、Q16. (保護者) 自分の将来について夢や希望を持っていますか。

上段：回答数、下段：構成比

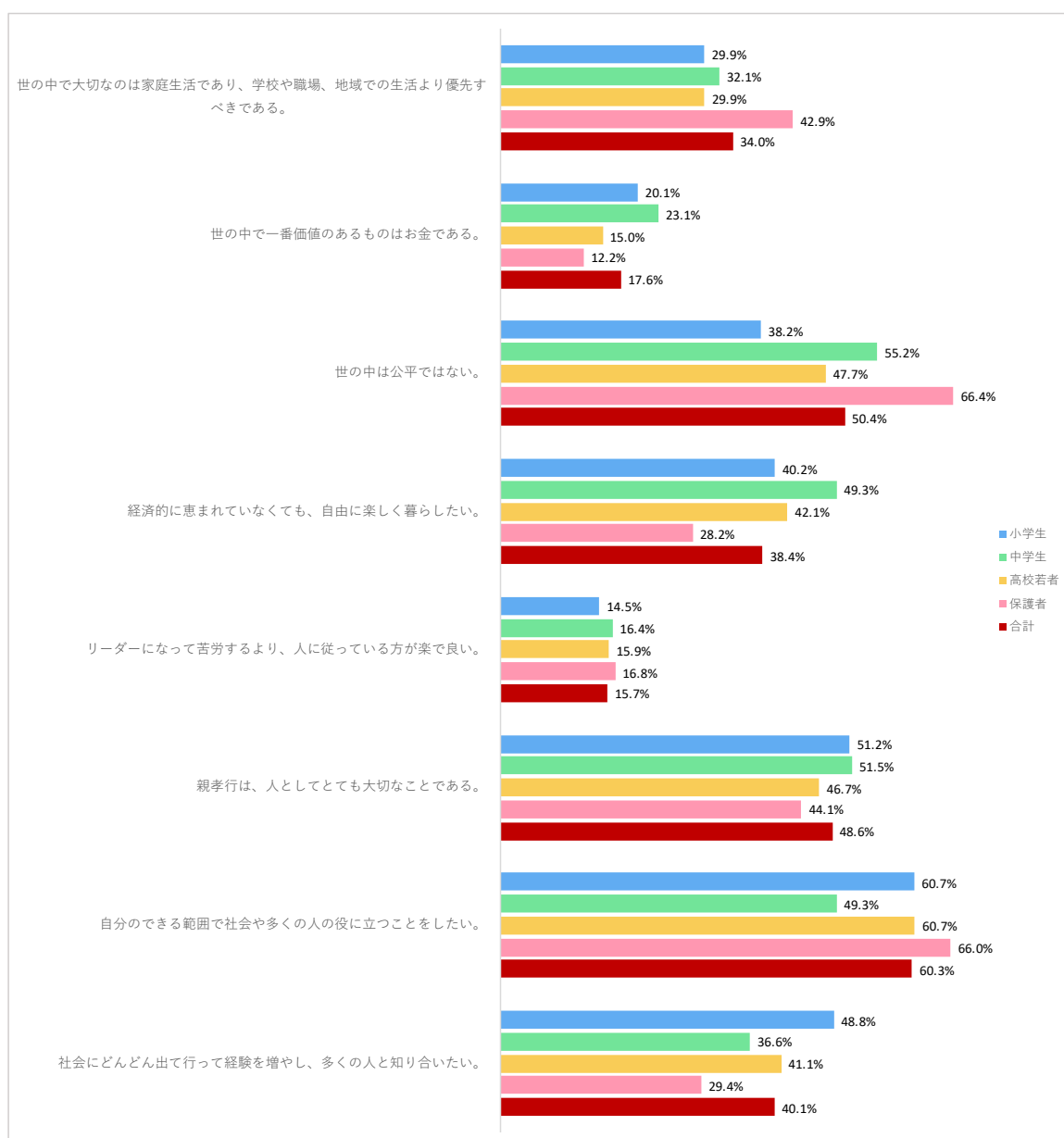
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
持っている	178 52.7%	48 35.8%	40 37.4%	38 16.0%	304 37.2%
どちらかといえば持っている	112 33.1%	49 36.6%	41 38.3%	102 42.9%	304 37.2%
どちらかといえば持っていない	25 7.4%	24 17.9%	17 15.9%	61 25.6%	127 15.5%
持っていない	23 6.8%	13 9.7%	9 8.4%	37 15.5%	82 10.0%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q10. (小学生)、Q14. (中学生・高校若者)、Q17. (保護者) 社会に対する意識として、あなたの考えに近い考え方を選択してください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
世の中で大切なのは家庭生活であり、学校や職場、地域での生活より優先すべきである。	101 29.9%	43 32.1%	32 29.9%	102 42.9%	278 34.0%
世の中で一番価値のあるものはお金である。	68 20.1%	31 23.1%	16 15.0%	29 12.2%	144 17.6%
世の中は公平ではない。	129 38.2%	74 55.2%	51 47.7%	158 66.4%	412 50.4%
経済的に恵まれていなくても、自由楽しく暮らしたい。	136 40.2%	66 49.3%	45 42.1%	67 28.2%	314 38.4%
リーダーになって苦労するより、人に従っている方が楽で良い。	49 14.5%	22 16.4%	17 15.9%	40 16.8%	128 15.7%
親孝行は、人としてとても大切なことである。	173 51.2%	69 51.5%	50 46.7%	105 44.1%	397 48.6%
自分のできる範囲で社会や多くの人の役に立つことをしたい。	205 60.7%	66 49.3%	65 60.7%	157 66.0%	493 60.3%
社会にどんどん出て行って経験を増やし、多くの人と知り合いたい。	165 48.8%	49 36.6%	44 41.1%	70 29.4%	328 40.1%
n：回答者数	338	134	107	238	817

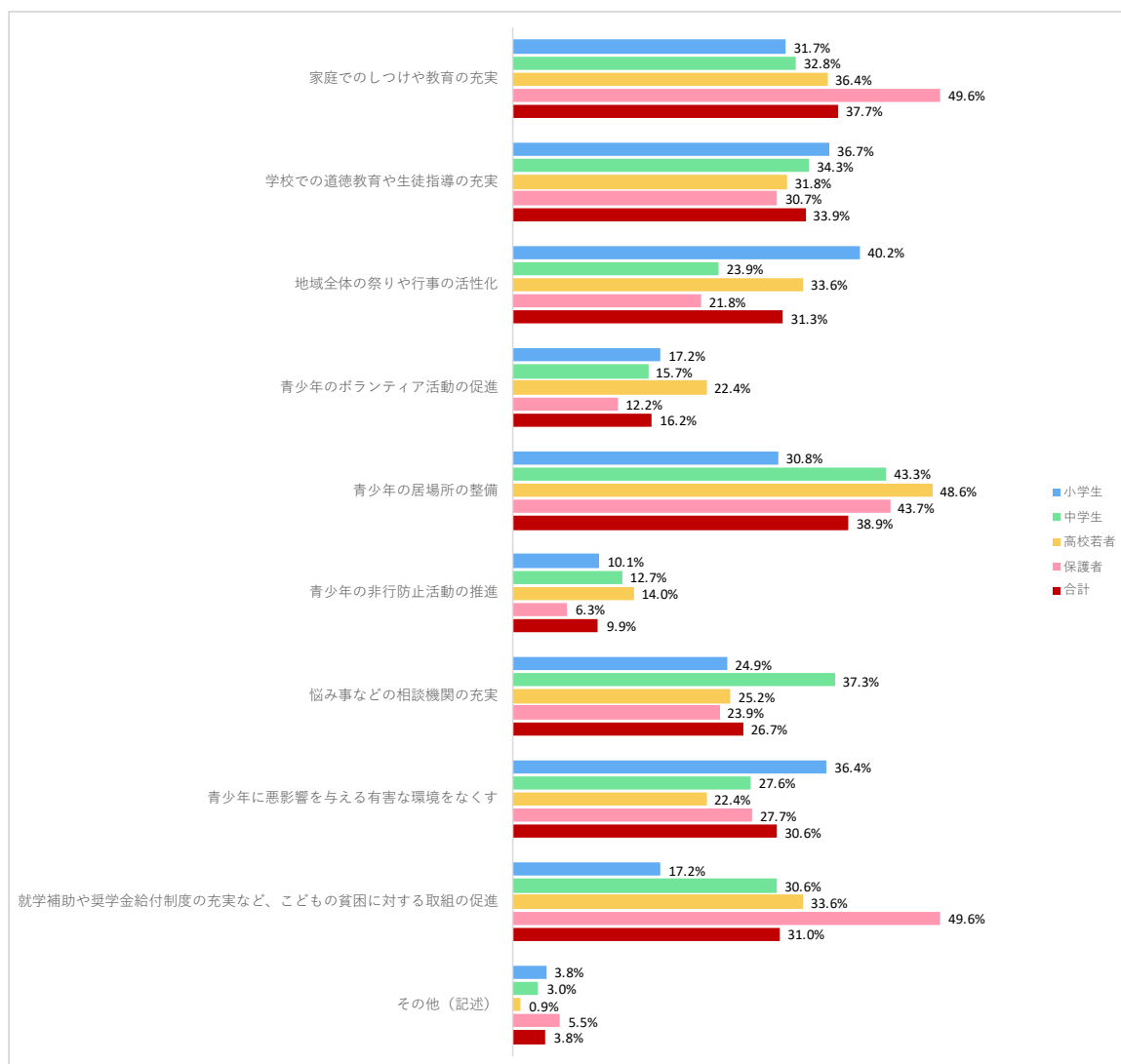


Q11. (小学生)、Q15. (中学生・高校若者)、Q18. (保護者) 青少年が心も体も健やかに育つために、どのような取組が必要だと考えますか。【3つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
家庭でのしつけや教育の充実	107 31.7%	44 32.8%	39 36.4%	118 49.6%	308 37.7%
学校での道徳教育や生徒指導の充実	124 36.7%	46 34.3%	34 31.8%	73 30.7%	277 33.9%
地域全体の祭りや行事の活性化	136 40.2%	32 23.9%	36 33.6%	52 21.8%	256 31.3%
青少年のボランティア活動の促進	58 17.2%	21 15.7%	24 22.4%	29 12.2%	132 16.2%
青少年の居場所の整備	104 30.8%	58 43.3%	52 48.6%	104 43.7%	318 38.9%
青少年の非行防止活動の推進	34 10.1%	17 12.7%	15 14.0%	15 6.3%	81 9.9%
悩み事などの相談機関の充実	84 24.9%	50 37.3%	27 25.2%	57 23.9%	218 26.7%
青少年に悪影響を与える有害な環境をなくす	123 36.4%	37 27.6%	24 22.4%	66 27.7%	250 30.6%
就学補助や奨学金給付制度の充実など、こどもの貧困に対する取組の促進	58 17.2%	41 30.6%	36 33.6%	118 49.6%	253 31.0%
その他（記述）	13 3.8%	4 3.0%	1 0.9%	13 5.5%	31 3.8%
n：回答者数	338	134	107	238	817

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



その他（記述）

【小学生】

- ・職業体験を行い大変さを知って優しくなってもらう
- ・給食を豪華にしてほしい
- ・学校に乱暴な子がいて、先生が注意しても何も変わらないので、そういう子ばかりを集めて1クラス作り、通常学級と授業を別にしてほしい。やられているほうがずっとがまんして過ごさなければいけないのはおかしいと思う。
- ・学校に行きたくない時があるので、楽しいところだと良いです。
- ・親という時間の充実
- ・家族と楽しく過ごすこと
- ・昔あそびを知ること その中で学びが多いと思う。核家族が多いので世代を越えた交流ができる場所があればよい
- ・身体が食べ物からできていることを、しっかりと理解し本物の味を知ることができる環境を整える！！子ども本来が持つ好奇心に寄り添い、可能性を潰さずオンリーワンが価値ある自分と未来を切り開くとサポートする大人や場所が増えること。
- ・学校のルールが変わってほしい。学校はきゅうくつ
- ・室内で運動も遊びもできるみんなが集まれる大きな施設
- ・子供の時から働いてお金を稼いだり投資をすること。
- ・お金を使わないで、ぶつぶつ交換などをする。
- ・質問が難しいなど 2件

【中学生】

- ・家族が絶対味方であることと、それが家庭内での共通認識であること
- ・よくわからない
- ・大人の子供に対する考え方、偏見をなくす
- ・いろいろなことを知ること

【高校若者】

- ・学校の先生には、生徒は自分たちの欲をぶつけるための存在では無いことを理解して頂きたい。

【保護者】

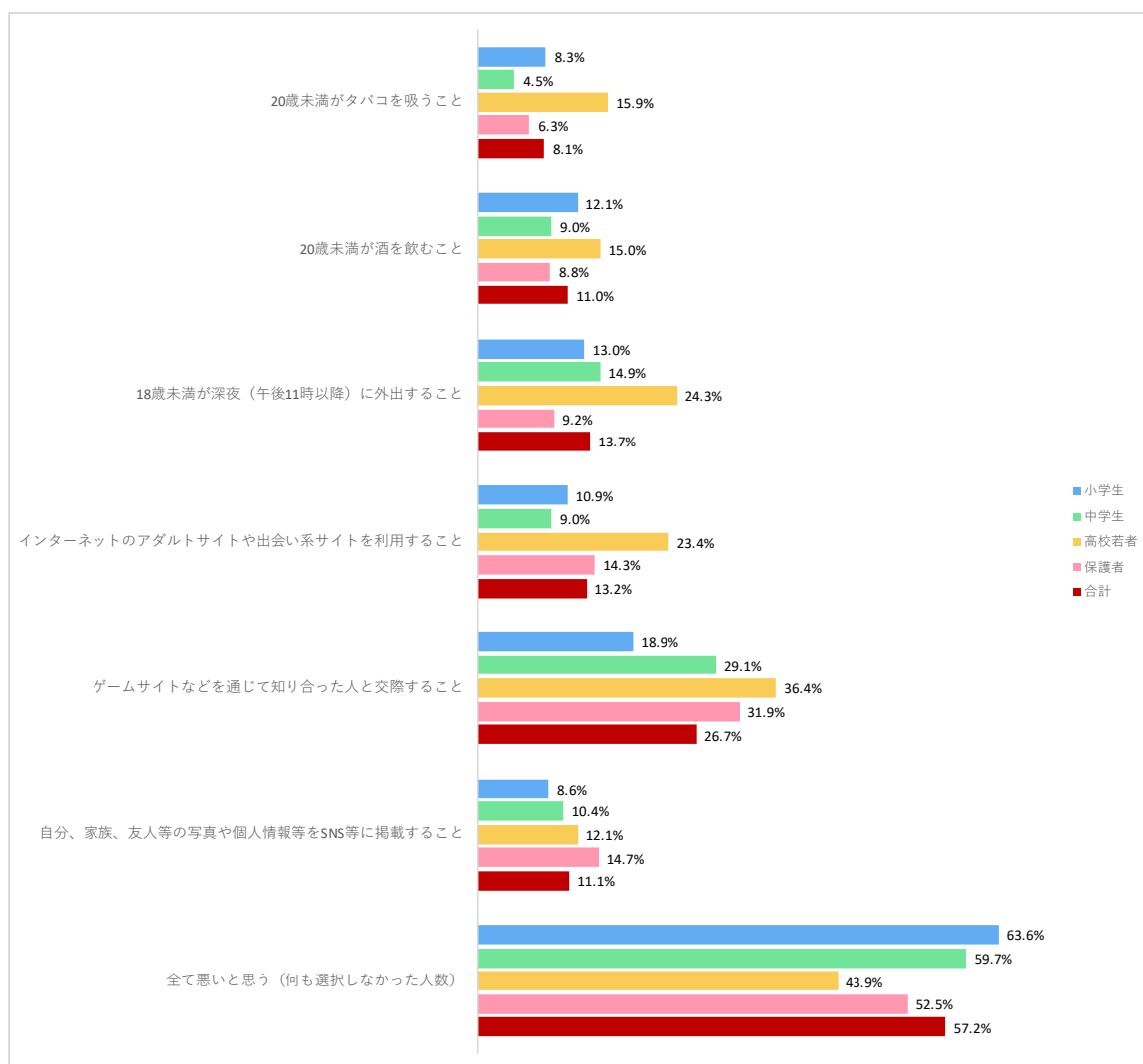
- ・有害なインターネット広告に規制をかける。
- ・子どもそれぞれに個性があるので、個性を伸ばせるような教育が充実すると思う
- ・家庭での情操教育保護者のゆとり
- ・学校で一人一人目の届く体制マンモス学校なんて問題外少人数体制推進
- ・1番は家庭での親との過ごし方だと思う。親のゆとりが子供のあらゆる成長や教育にも関わってくる。その親のゆとりと言うものが昨今とても難しくもある。時間ばかり…資金ばかり…。出来るものならばもっともっと子供と関わりたい。
- ・県や市で、子供が活躍できる場の提供。他校の学校の子達と何かを企画するなどの場をつくる。
- ・健全な家庭環境
- ・子どもの多様性は認めるが、大人、特に教師や公務員に対しては画一化を求めているところ
- ・家族でなくても、身近に相談したりモデル(理想像や目標)になる大人が居ること。
- ・県内トップの高校や、トップの大学に入ることが正しいと思わせる塾の看板がありすぎる。保護者や学生に誤解を生んでいる。塾に通い、やりたいことを我慢し、テストのための勉強をしているように見える
- ・子供の意見を尊重した、周りの親や先生、行政などからの「場所」作り
- ・スマホ利用の法律的な設定。
- ・福祉の充実(定型発達児だけでなく障害児にも健やかに育て欲しい)

Q12. (小学生)、Q16. (中学生・高校若者)、Q19. (保護者) あなたの考えでは、次のどの行為が「悪くない」と思いますか。【全て悪いと思う場合は何も選択せず次におすすみください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
20歳未満がタバコを吸うこと	28 8.3%	6 4.5%	17 15.9%	15 6.3%	66 8.1%
20歳未満が酒を飲むこと	41 12.1%	12 9.0%	16 15.0%	21 8.8%	90 11.0%
18歳未満が深夜（午後11時以降）に外出すること	44 13.0%	20 14.9%	26 24.3%	22 9.2%	112 13.7%
インターネットのアダルトサイトや出会い系サイトを利用すること	37 10.9%	12 9.0%	25 23.4%	34 14.3%	108 13.2%
ゲームサイトなどを通じて知り合った人と交際すること	64 18.9%	39 29.1%	39 36.4%	76 31.9%	218 26.7%
自分、家族、友人等の写真や個人情報をSNS等に掲載すること	29 8.6%	14 10.4%	13 12.1%	35 14.7%	91 11.1%
全て悪いと思う（何も選択しなかった人数）	215 63.6%	80 59.7%	47 43.9%	125 52.5%	467 57.2%
n：回答者数	338	134	107	238	817

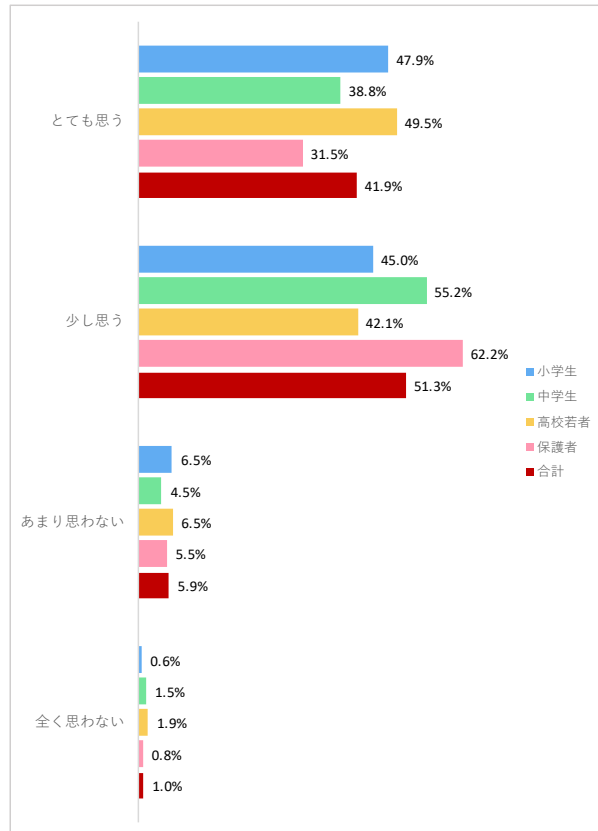
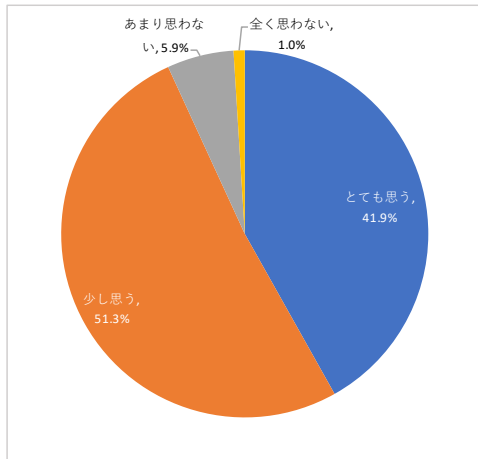
※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q13. (小学生)、Q17. (中学校・高校若者)、Q20. (保護者) 誰かのためや社会のためになることをしたいと思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
とても思う	162 47.9%	52 38.8%	53 49.5%	75 31.5%	342 41.9%
少し思う	152 45.0%	74 55.2%	45 42.1%	148 62.2%	419 51.3%
あまり思わない	22 6.5%	6 4.5%	7 6.5%	13 5.5%	48 5.9%
全く思わない	2 0.6%	2 1.5%	2 1.9%	2 0.8%	8 1.0%
n：回答者数	338	134	107	238	817

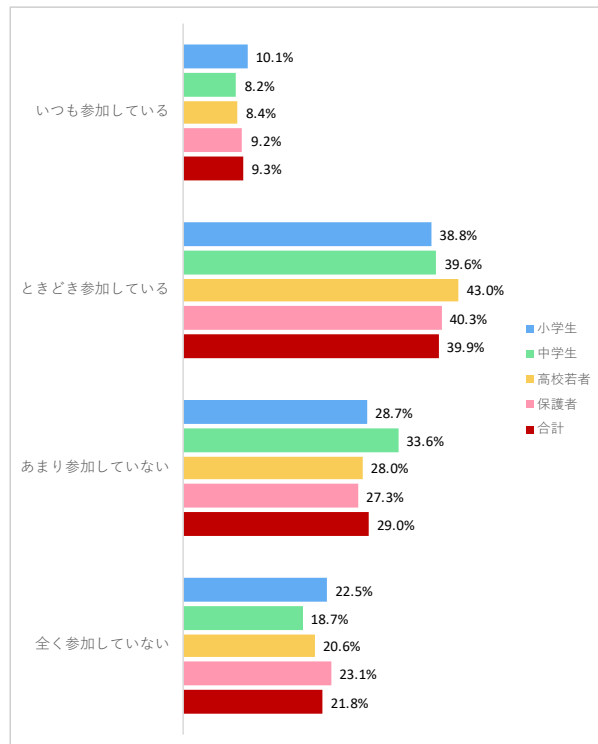
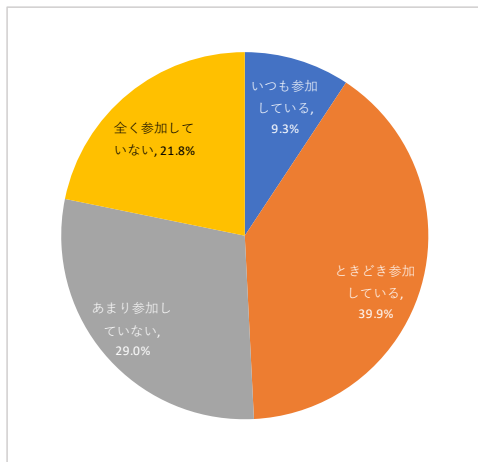


Q14. (小学生)、Q18. (中学生・高校若者)、Q21. (保護者) 社会貢献活動 (ボランティアなど) に参加していますか。

※募金活動、プルタブやエコキャップ等の収集、育成会等の地域活動など

上段：回答数、下段：構成比

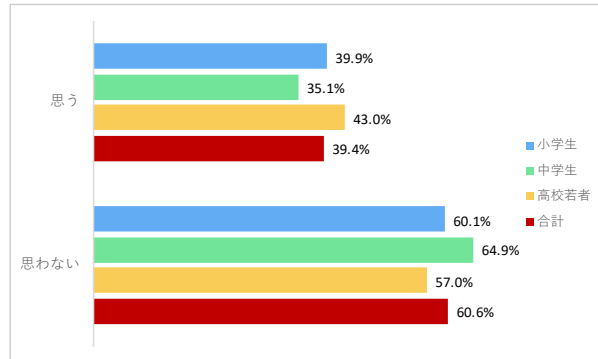
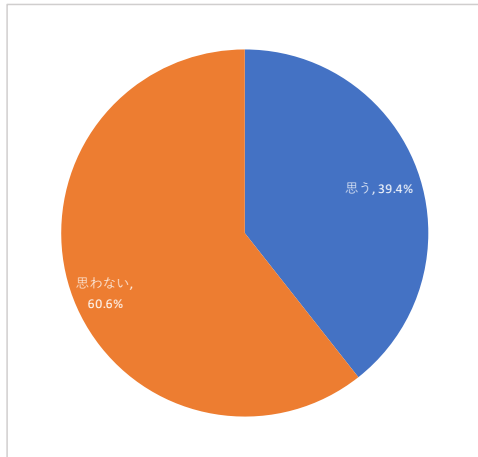
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
いつも参加している	34 10.1%	11 8.2%	9 8.4%	22 9.2%	76 9.3%
ときどき参加している	131 38.8%	53 39.6%	46 43.0%	96 40.3%	326 39.9%
あまり参加していない	97 28.7%	45 33.6%	30 28.0%	65 27.3%	237 29.0%
全く参加していない	76 22.5%	25 18.7%	22 20.6%	55 23.1%	178 21.8%
n：回答者数	338	134	107	238	817



Q15. (小学校)、Q19. (中学生・高校若者) 海外留学や海外で仕事をしたいと思いますか。

上段：回答数、下段：構成比

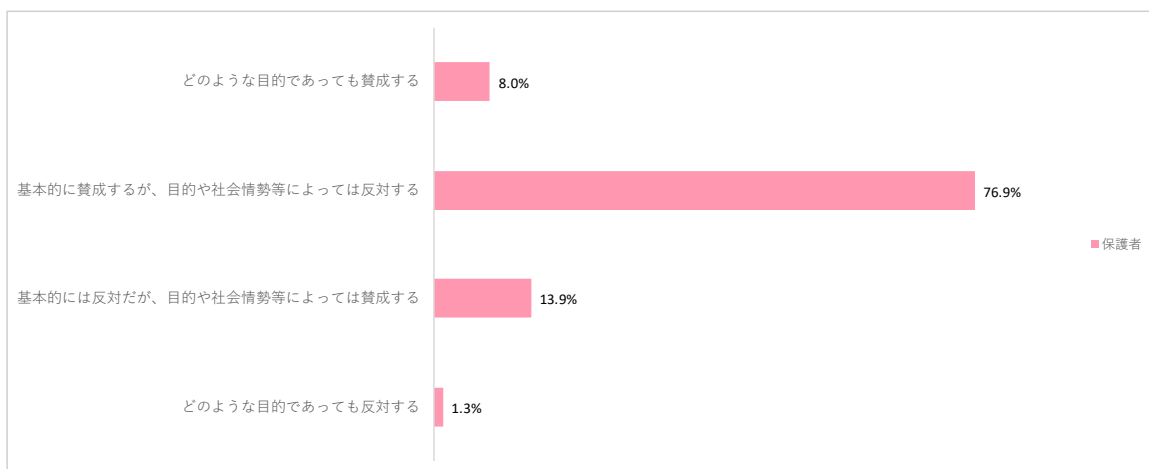
小学校・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
思う	135 39.9%	47 35.1%	46 43.0%	- -	228 39.4%
思わない	203 60.1%	87 64.9%	61 57.0%	- -	351 60.6%
n：回答者数	338	134	107	-	579



Q22. (保護者) こどもから、海外留学や海外で仕事をしたいと言われた場合、あなたはどのようにしますか。

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
どのような目的であっても賛成する	-	-	-	19 8.0%	19 8.0%
基本的に賛成するが、目的や社会情勢等によっては反対する	-	-	-	183 76.9%	183 76.9%
基本的には反対だが、目的や社会情勢等によっては賛成する	-	-	-	33 13.9%	33 13.9%
どのような目的であっても反対する	-	-	-	3 1.3%	3 1.3%
n：回答者数	-	-	-	238	238

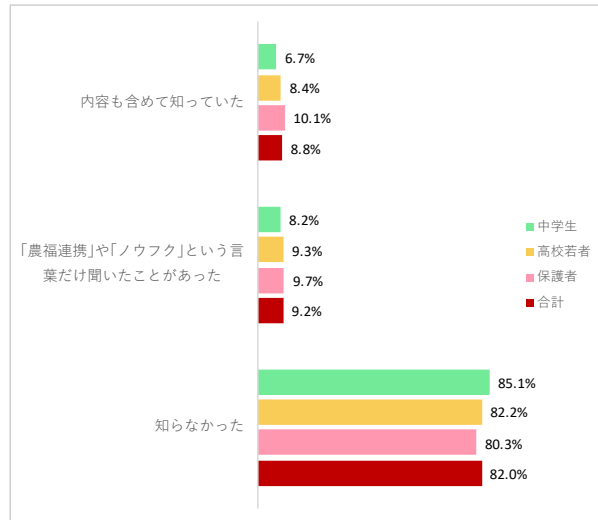
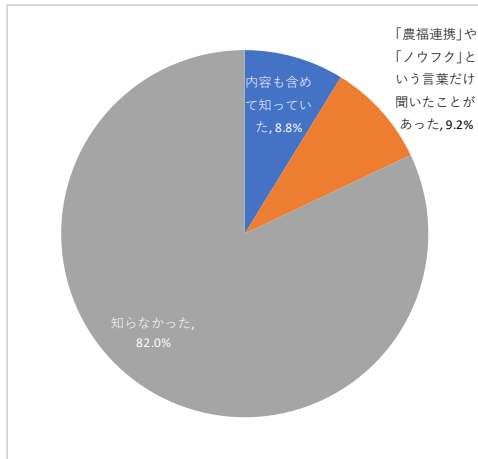


Q20. (中学生・高校若者)、Q23. (保護者) 農福連携の取組を知っていますか。

※農福連携（のうふくれんけい）とは、障害のある人が農業を通じて、自信や生きがいをつくり、社会の一員として活動していく取組

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
内容も含めて知っていた	-	9 6.7%	9 8.4%	24 10.1%	42 8.8%
「農福連携」や「ノウフク」という言葉だけ聞いたことがあった	-	11 8.2%	10 9.3%	23 9.7%	44 9.2%
知らなかった	-	114 85.1%	88 82.2%	191 80.3%	393 82.0%
n：回答者数	-	134	107	238	479

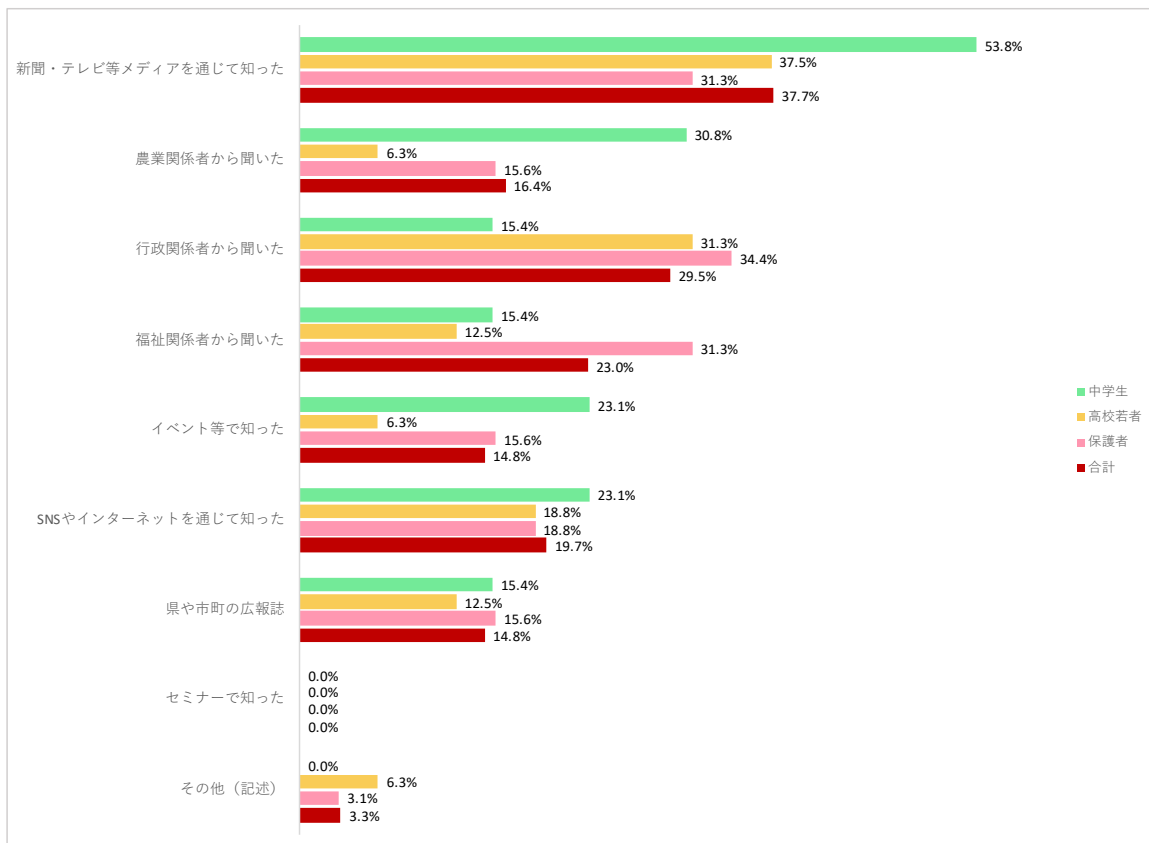


Q21. (中学生・高校若者) 「Q20」で「内容も含めて知っていた」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組をどのように知りましたか。【いくつか選んでください】

Q24. (保護者) 「Q23」で「内容も含めて知っていた」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組をどのように知りましたか。【いくつか選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
新聞・テレビ等メディアを通じて知った	-	7	6	10	23
	-	53.8%	37.5%	31.3%	37.7%
農業関係者から聞いた	-	4	1	5	10
	-	30.8%	6.3%	15.6%	16.4%
行政関係者から聞いた	-	2	5	11	18
	-	15.4%	31.3%	34.4%	29.5%
福祉関係者から聞いた	-	2	2	10	14
	-	15.4%	12.5%	31.3%	23.0%
イベント等で知った	-	3	1	5	9
	-	23.1%	6.3%	15.6%	14.8%
SNSやインターネットを通じて知った	-	3	3	6	12
	-	23.1%	18.8%	18.8%	19.7%
県や市町の広報誌	-	2	2	5	9
	-	15.4%	12.5%	15.6%	14.8%
セミナーで知った	-	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(記述)	-	0	1	1	2
	-	0.0%	6.3%	3.1%	3.3%
n：回答者数	-	13	16	32	61



その他(記述)

【高校若者】

- ・家族から聞いた。

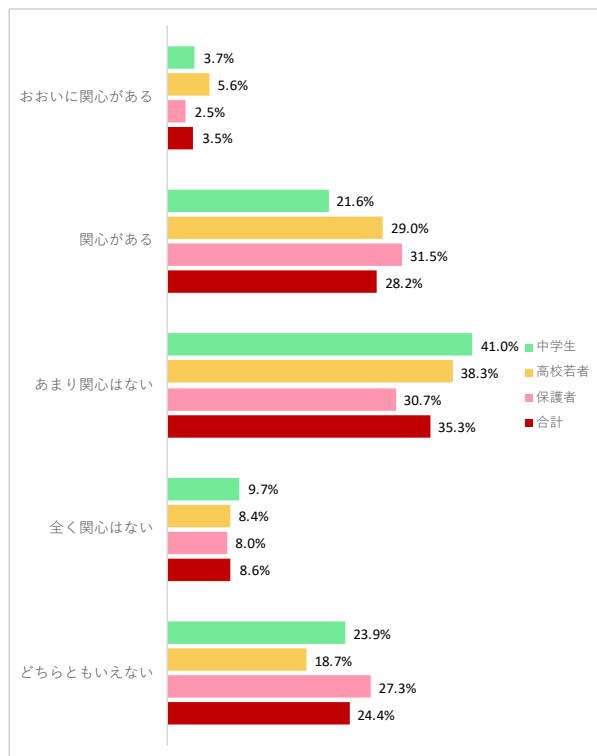
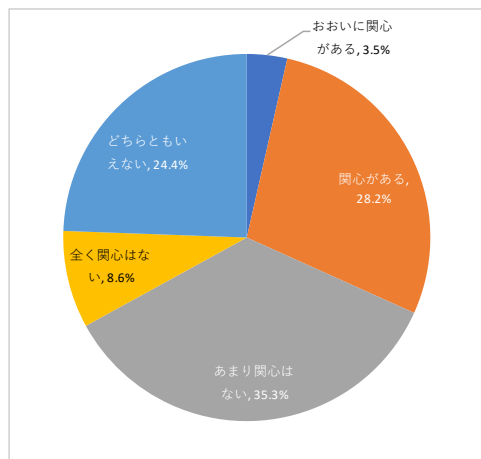
【保護者】

- ・知らない

Q22. (中学生・高校若者)、Q25. (保護者) 農福連携について関心はありますか。

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
おおいに関心がある	-	5	6	6	17
	-	3.7%	5.6%	2.5%	3.5%
関心がある	-	29	31	75	135
	-	21.6%	29.0%	31.5%	28.2%
あまり関心はない	-	55	41	73	169
	-	41.0%	38.3%	30.7%	35.3%
全く関心はない	-	13	9	19	41
	-	9.7%	8.4%	8.0%	8.6%
どちらともいえない	-	32	20	65	117
	-	23.9%	18.7%	27.3%	24.4%
n：回答者数	-	134	107	238	479

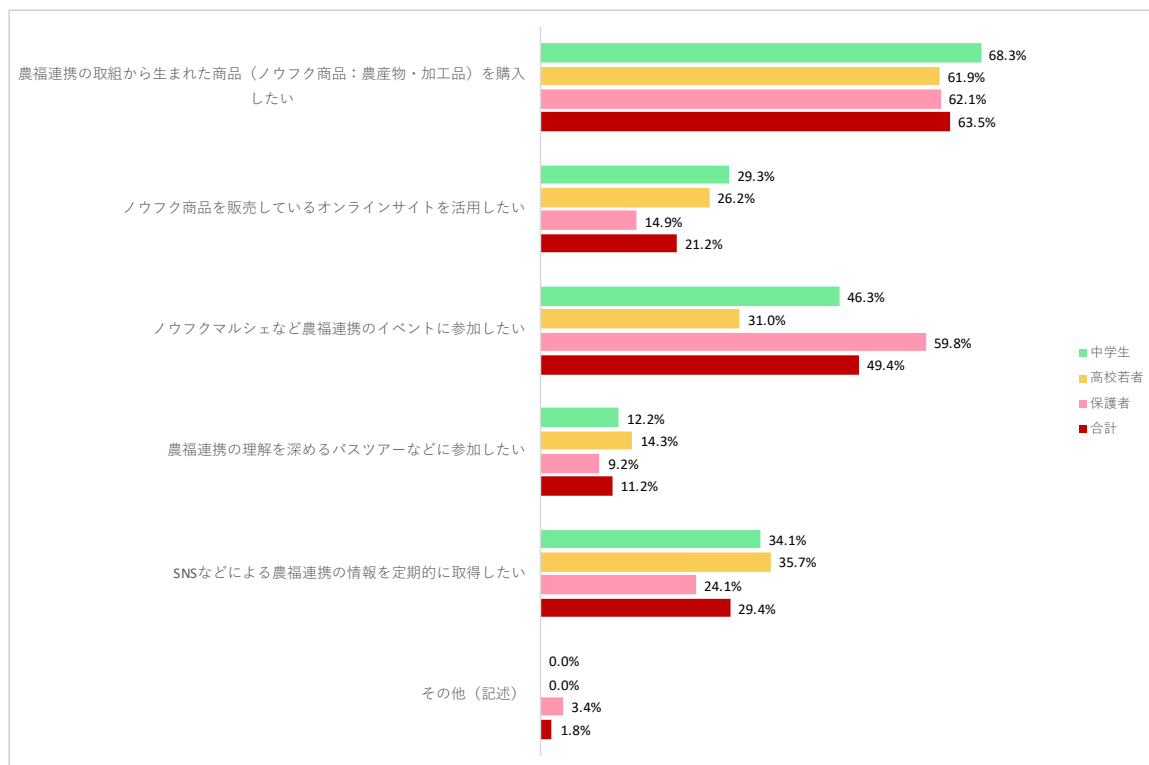


Q23. (中学生・高校若者) 「Q22」で、農福連携の取組について、「おおいに関心がある」、「関心がある」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組についてどのように関わりたいですか。【いくつでも選んでください】

Q26. (保護者) 「Q25」で、農福連携の取組について、「おおいに関心がある」、「関心がある」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組についてどのように関わりたいですか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
農福連携の取組から生まれた商品（ノウフク商品：農産物・加工品）を購入したい	-	28	26	54	108
	-	68.3%	61.9%	62.1%	63.5%
ノウフク商品を販売しているオンラインサイトを活用したい	-	12	11	13	36
	-	29.3%	26.2%	14.9%	21.2%
ノウフクマルシェなど農福連携のイベントに参加したい	-	19	13	52	84
	-	46.3%	31.0%	59.8%	49.4%
農福連携の理解を深めるバスツアーなどに参加したい	-	5	6	8	19
	-	12.2%	14.3%	9.2%	11.2%
SNSなどによる農福連携の情報を定期的に取得したい	-	14	15	21	50
	-	34.1%	35.7%	24.1%	29.4%
その他（記述）	-	0	0	3	3
	-	0.0%	0.0%	3.4%	1.8%
n：回答者数	-	41	42	87	170



その他（記述）

【保護者】

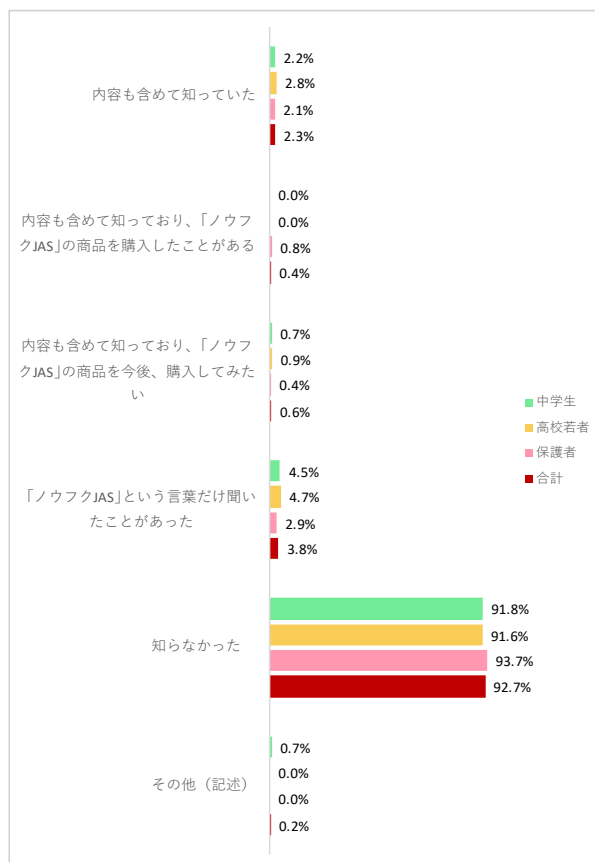
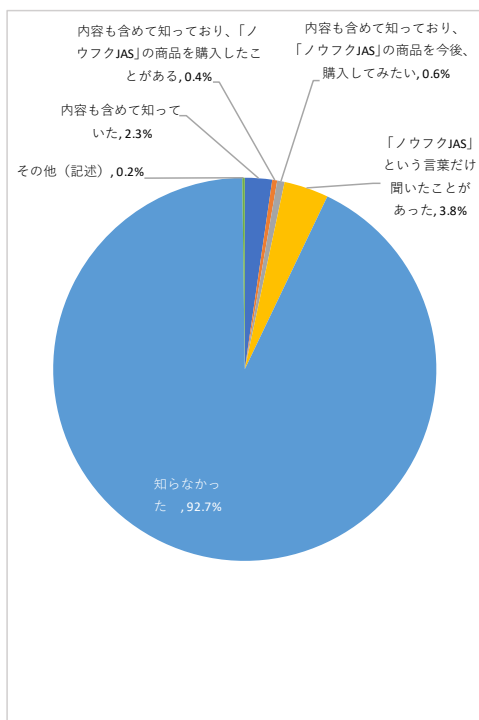
- ・まずは、どんな内容なの自分なりに調べてみたい
- ・農福がなんなのか分からない
- ・とりあえず農福連携についてももう少し知りたい。あまりにも自分が無知
- ・農福がわからないので、質問されてもわからない

Q24. (中学校・高校若者)、Q27. (保護者) ノウフクJASを知っていますか。

※JASとは農林水産物・食品の品質や仕様を揃えるための規格であり、ノウフクJASとは、障害者が生産行程に携わった食品等の規格

上段：回答数、下段：構成比

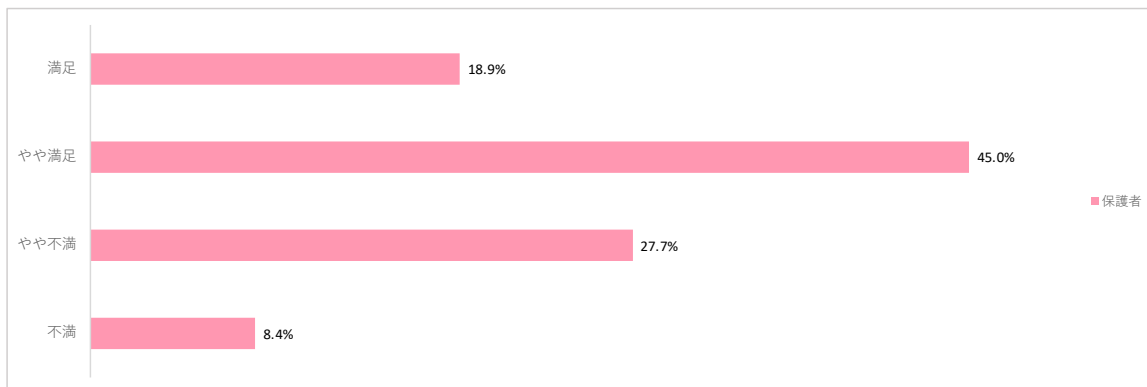
中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
内容も含めて知っていた	-	3 2.2%	3 2.8%	5 2.1%	11 2.3%
内容も含めて知っており、「ノウフクJAS」の商品を購入したことがある	-	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	2 0.4%
内容も含めて知っており、「ノウフクJAS」の商品を今後、購入してみたい	-	1 0.7%	1 0.9%	1 0.4%	3 0.6%
「ノウフクJAS」という言葉だけ聞いたことがあった	-	6 4.5%	5 4.7%	7 2.9%	18 3.8%
知らなかった	-	123 91.8%	98 91.6%	223 93.7%	444 92.7%
その他（記述）	-	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%
n：回答者数	-	134	107	238	479



Q28. (保護者) 栃木県の小児医療提供体制（子どもに対する外来医療や救急医療、医療相談等の体制）について満足していますか？

上段：回答数、下段：構成比

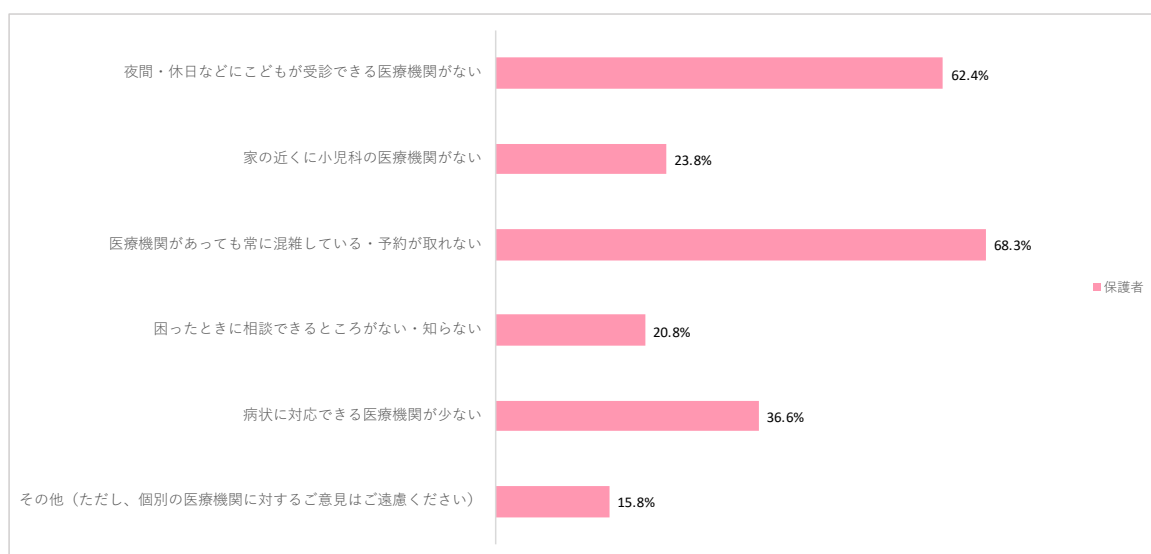
保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
満足	-	-	-	45 18.9%	45 18.9%
やや満足	-	-	-	107 45.0%	107 45.0%
やや不満	-	-	-	66 27.7%	66 27.7%
不満	-	-	-	20 8.4%	20 8.4%
n：回答者数	-	-	-	238	238



Q29. (保護者) 「Q28」 で、「やや不満」「不満」と回答した方にお聞きします。小児医療提供体制について不満に思うことを選択してください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
夜間・休日などにこどもが受診できる医療機関がない	-	-	-	63	63
	-	-	-	62.4%	62.4%
家の近くに小児科の医療機関がない	-	-	-	24	24
	-	-	-	23.8%	23.8%
医療機関があっても常に混雑している・予約が取れない	-	-	-	69	69
	-	-	-	68.3%	68.3%
困ったときに相談できるところがない・知らない	-	-	-	21	21
	-	-	-	20.8%	20.8%
病状に対応できる医療機関が少ない	-	-	-	37	37
	-	-	-	36.6%	36.6%
その他（ただし、個別の医療機関に対するご意見はご遠慮ください）	-	-	-	16	16
	-	-	-	15.8%	15.8%
n：回答者数	-	-	-	101	101



その他（記述）

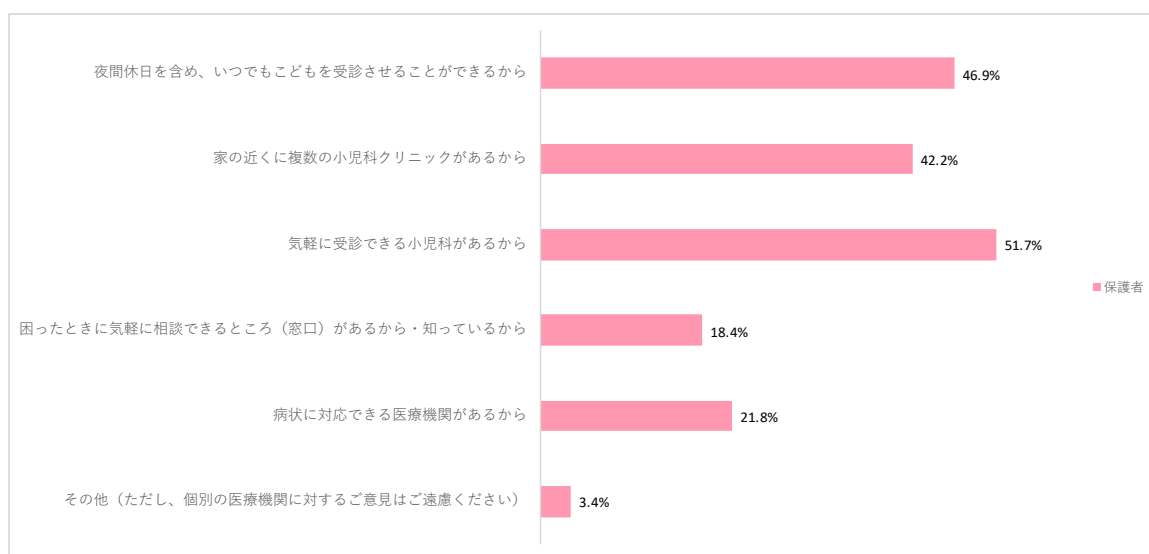
【保護者】

- ・小児科の数が圧倒的に少ない。
子供はいつも休みや夜に体調を崩すのに、小児科医がいないことから急患センターなどで断られる。
- ・小児がかかる頻度が高いと思われる耳鼻科や皮膚科が少ないと思います。
- ・医療スタッフが少ない
- ・救急以外で相談できるところがどこにあるのかわからない。
病院では先生が忙しそうだし、熱があるとか急性の時または明らかな異常以外は相談しにくい。
- ・以前、夜間救急にかかりたくて連絡したが、専門医がいないと言われ受け入れてもらえなかった。
- ・初診受け付け終了が早い
- ・小児科専門医が少ない。
- ・#8000で相談する看護師の方たちはいつも面倒そうで冷たい態度を取られ心が折れます。
電話をかける方は心配と不安でいっぱいな方ばかりだと思うのですが、
寄り添う気持ちも感じられず投げやりな言い方にいつも悲しい気持ちになります。
- ・新生児の検査は充実しているが、検査結果が引っかかってしまった場合のフォローがない。
- ・小児科が予約システムを取り入れていて、朝のうちに予約が1日うまってしまうときがある。
6時半に予約開始して1分で1日の予約うまるときもある。
ひどいときは、5箇所かけても乳児の発熱の診察をしてもらえず、〇〇病院まで行ってやっとかかれたことがあった。
- ・小児科を標榜していても専門医出ないことが多い
- ・小児発達の外来が少ないと感じる。
- ・インフルエンザの予防接種を無償化してほしい。せめて小学生までは無償化して頂けると助かります。
- ・大型連休初日に娘が発熱したが小児ということで日中の当番医には連日門前払い。
夜間の小児医療でもコロナ検査の対応しかしてもらえなかった。
連休中、解熱剤と食事でしか対応できず子どもが衰弱してかわいそうだった。
- ・薬だけに頼らない、医食同源を基本とした自然に沿った提案指導をしてくださる先生が少なすぎることに。
子供達のためにも、今後の身体づくりを基本とした食選びも提案出来るような小児科が増えることを期待します。

Q30. (保護者) 「Q28」 で、「満足」「やや満足」と回答した方にお聞きします。小児医療提供体制について満足と評価した理由を選択してください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
夜間休日を含め、いつでも子どもを受診させることができるから	-	-	-	69	69
	-	-	-	46.9%	46.9%
家の近くに複数の小児科クリニックがあるから	-	-	-	62	62
	-	-	-	42.2%	42.2%
気軽に受診できる小児科があるから	-	-	-	76	76
	-	-	-	51.7%	51.7%
困ったときに気軽に相談できる場所（窓口）があるから・知っているから	-	-	-	27	27
	-	-	-	18.4%	18.4%
病状に対応できる医療機関があるから	-	-	-	32	32
	-	-	-	21.8%	21.8%
その他（ただし、個別の医療機関に対するご意見はご遠慮ください）	-	-	-	5	5
	-	-	-	3.4%	3.4%
n：回答者数	-	-	-	147	147



その他（記述）

【保護者】

- ・上の子の時はなかったので
- ・最近、救急医療を利用したとき対応に満足した。
- ・今のご時世、色々な意味でこんなものではないですか。可もなく不可もなく、
- ・子供が薬を多く飲んだ時に看護師の方に相談できる電話を何度か利用させていただきとても助かりましたが、現状に満足せずにレベルの高い他の自治体と連携して質の高い医療を目指してもらいたいです。
- ・混雑していたり初診予約が取りづらいこともあるが、何時間か待てれば診察は受けられる。
- ・去年息子が難病で救急搬送されました。県内大学病院と市内の総合病院が連携をはかって下さっており安心できます。

Q31. (保護者) とちまる救急安心電話相談を知っていますか？利用経験はありますか？【2つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
#8000 (こども対象)を知っており、実際に利用したことがある	-	-	-	106	106
	-	-	-	44.5%	44.5%
#8000 (こども対象)を知っているが、利用したことはない	-	-	-	74	74
	-	-	-	31.1%	31.1%
#7119 (大人対象)を知っており、実際に利用したことがある	-	-	-	11	11
	-	-	-	4.6%	4.6%
#7119 (大人対象)を知っているが、利用したことはない	-	-	-	45	45
	-	-	-	18.9%	18.9%
どちらも知らない	-	-	-	55	55
	-	-	-	23.1%	23.1%
n：回答者数	-	-	-	238	238

